

03 資料編



1) 諮問・答申

政 第 9 号
平成30年1月12日

大田市総合計画審議会
会長 久保田 典男 様

大田市長 楫野 弘和

大田市総合計画基本構想について(諮問)

大田市総合計画基本構想の策定にあたり、大田市総合計画策定条例第3条の規定に基づき、貴審議会の意見を求めます。

平成30年7月12日

大田市長 楫野 弘和 様

大田市総合計画審議会
会長 久保田 典男

大田市総合計画基本構想について(答申)

平成30年1月12日付、大田市総合計画策定条例第3条の規定に基づき諮問のあった大田市総合計画基本構想について、添付のとおり答申します。

2) 第2次大田市総合計画審議会 委員名簿

所 属	委 員 氏 名	団 体 役 職 等	備 考
公共的団体役員・職員	山崎 桂一	島根大田青年会議所 理事長	
	松村 亮	大田商工会議所青年部 会長	
	柳 拓也	銀の道商工会青年部 副会長	
	竹下 幸二	J Aしまね石見銀山青年連盟 委員長	
	清水満利栄	大田商工会議所女性会 会長	
	住田 奈々	J Aしまね石見銀山女性部 フレッシュミズ部会「つぼみくらぶ」部会長	
	吉田 真子	大田市社会福祉協議会 課長補佐	
	月森あゆみ	大田市PTA連合会 副会長	~H30.3.31
	初田香奈子	大田市PTA連合会 副会長	H30.4.1~
学識経験を有する者	久保田典男	島根県立大学 教授	会長
	福間 祐子	(公財)しまね女性センター 男女共同参画推進アドバイザー	副会長
	野津 孝明	国立三瓶青少年交流の家 次長	
まちづくりに 関し識見を有する者	厚朴 邦広	温泉津まちづくり委員会	
	石原 千郷	高山まちづくり委員会	
市長が必要と 認める者	恩田 克幸	島根県立大田高等学校 校長	~H30.3.31
	渡邊 宏志	島根県立大田高等学校 校長	H30.4.1~
	三島 祐司	島根県立邇摩高等学校 校長	
	河野 潤	大田金融会 会長	
	梶谷美由紀	さんべ女子会	
	渡利 章香	温泉津女子会 会長	
	山根 朋子	第3期仁摩で恋活実行委員会	
	松場 忠	N P O法人納川の会 理事	
	那須野孝子	あゆみ保育園保護者会	

3) 大田市総合計画策定条例

平成29年12月20日
条例第19号

(趣旨)

第1条 この条例は、総合かつ計画的な市政の運営を図るため、大田市総合計画(以下「総合計画」という。)の策定等について必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 総合計画 将来における本市のあるべき姿と進むべき方向についての基本的な指針を示し、基本構想、基本計画及び実施計画からなるものをいう。
- (2) 基本構想 本市が目指すべき将来の姿を示したものをいう。
- (3) 基本計画 基本構想に掲げた、目指すべき将来の姿を実現するための計画であり、まちづくりに係る施策の方向性を体系的に示したものをいう。
- (4) 実施計画 基本計画に掲げる施策を実現するために策定する計画であり、具体的な事業を示したものをいう。

(審議会への諮問)

第3条 市長は、基本構想を策定し、又は変更しようとするときは、大田市総合計画審議会に諮問しなければならない。

(大田市総合計画審議会)

第4条 地方自治法(昭和22年法律第67号)第138条の4第3項の規定に基づき、大田市総合計画審議会(以下「審議会」という。)を置く。
2 審議会は、市長の諮問に応じ、基本構想の策定又は変更について調査及び審議し、その結果を答申する。

(組織)

第5条 審議会は、委員30人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 公共的団体の役員及び職員
- (2) 学識経験を有する者
- (3) まちづくりに関し識見を有する者
- (4) その他市長が必要と認める者

3 委員の任期は、2年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 委員の再任は、妨げないものとする。

(会長及び副会長)

第6条 審議会に会長及び副会長を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第7条 審議会の会議は、会長が招集し、その議長となる。

2 審議会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

3 審議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(議会の議決)

第8条 市長は、基本構想を策定し、又は変更しようとするときは、議会の議決を経るものとする。

(基本構想の公表)

第9条 市長は基本構想の策定後、速やかにこれを公表するものとする。

2 前項の規定は、基本構想の変更について準用する。

(基本計画及び実施計画の策定)

第10条 市長は、基本構想に基づき、基本計画及び実施計画を策定するものとする。

(総合計画との整合性)

第11条 市長は、個別の行政分野における施策の基本的な事項を定める計画を策定し、又は変更するに当たっては、総合計画との整合性を図るものとする。

(委任)

第12条 この条例に定めるもののほか、必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

1 この条例は、公布の日から施行する。

2 大田市総合計画審議会設置条例(平成17年大田市条例第233号)は廃止する。

4) 策定までの経過

年	月	事項等	備考
H29	9	市民アンケート調査	
		高校生アンケート調査	
	12	大田市総合計画策定条例の制定	市議会12月定例会
H30	1	第1回総合計画審議会	諮問、現状と課題
		市民ワークショップ	
	2	第2回総合計画審議会	現状と課題、理念等
	3	市議会全員協議会	策定状況について
		第3回総合計画審議会	理念、将来像等
	6	第4回総合計画審議会	基本構想(素案)
		市議会全員協議会	策定状況について
	7	第5回総合計画審議会	基本構想(案)、答申
		基本構想に係るパブリックコメント(意見募集)	基本構想(案)
	9	「基本構想」市議会上程、可決	市議会9月定例会
		市議会総合計画審査検討特別委員会	基本構想(案)
	11	市議会総合計画審査検討特別委員会	基本計画(骨格案)
第1回総合計画推進会議		基本計画(骨格案)	
12	市議会総合計画審査検討特別委員会	基本計画(素案)	
	基本計画に係るパブリックコメント(意見募集)	基本計画(素案)	
H31	1	第2回総合計画推進会議	基本計画(素案)
	2	市議会総合計画審査検討特別委員会	基本計画(案)
		市議会全員協議会	基本計画(案)
3	「基本計画」決定		

5) 大田市総合計画推進会議 委員名簿

所属	委員氏名	団体役職等	備考
公共的団体役員・職員	山崎 桂一	島根大田青年会議所 理事長	
	松村 亮	大田商工会議所青年部 会長	
	柳 拓也	銀の道商工会青年部 副会長	
	竹下 幸二	J Aしまね石見銀山青年連盟 委員長	
	清水満利栄	大田商工会議所女性会 会長	
	住田 奈々	J Aしまね石見銀山女性部 フレッシュミズ部会「つぼみくらぶ」部会長	
	吉田 真子	大田市社会福祉協議会 課長補佐	
	初田香奈子	大田市PTA連合会 副会長	
学識経験を有する者	福間 祐子	(公財)しまね女性センター 男女共同参画推進アドバイザー	
	野津 孝明	国立三瓶青少年交流の家 次長	
まちづくりに 関し識見を有する者	厚朴 邦広	温泉津まちづくり委員会	
	石原 千郷	高山まちづくり委員会	
市長が必要と 認める者	渡邊 宏志	島根県立大田高等学校 校長	
	三島 祐司	島根県立漣摩高等学校 校長	
	河野 潤	大田金融会 会長	
	梶谷美由紀	さんべ女子会	
	渡利 章香	温泉津女子会 会長	
	松場 忠	NPO法人納川の会 理事	
	那須野孝子	あゆみ保育園保護者会	
	三谷 蘭	デザイン事務所 ローブ	

6) 市民アンケート調査等の結果

第2次大田市総合計画策定に係る市民アンケート調査結果

1 調査概要

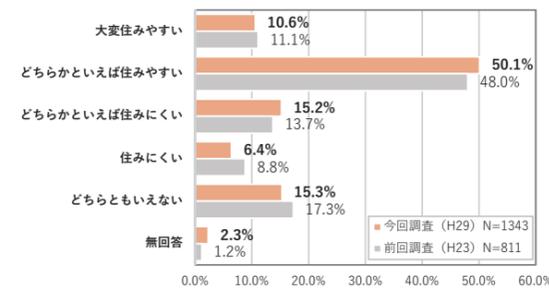
本調査は、第2次大田市総合計画の策定にあたり、市民の生活実態に関する意識、多様化する市民ニーズ、行政課題を把握するため、市が推進している施策の満足度や市政への意見などを市民から聴取し、本調査結果を基礎資料とすることを目的とする。

調査期間	平成29年9月25日～平成29年10月23日
調査対象	市内在住の満18歳以上の男女
標本数	約3,000人（配布数 3,014人）
抽出方法	住民基本台帳から無作為に抽出
調査方法	郵送配布・郵送回収調査
有効回収数	1,343件（有効回収率44.6%）

2 調査結果

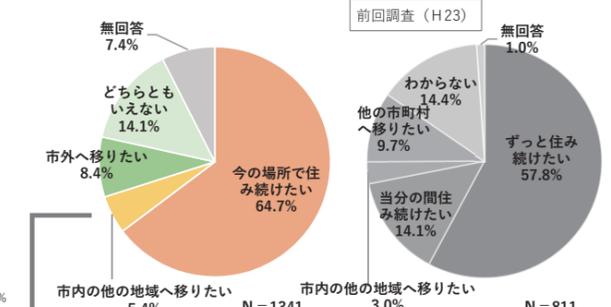
(1) 現在の住環境について

①大田市の住み心地



- 全体の約6割が「住みやすい」と感じている。（「大変住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」の合計）
- 前回調査から「住みにくい」が2.4ポイント減少し、「住みやすい」の割合が微増している。

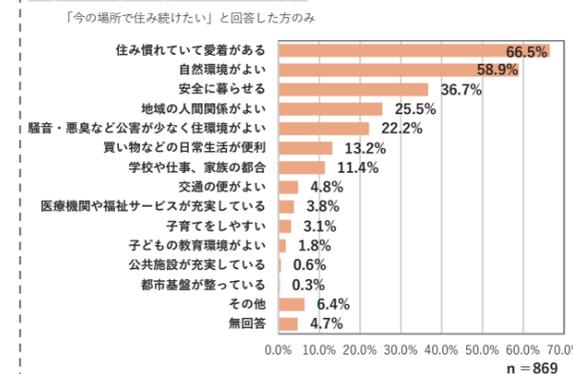
②居住意向



- 「大田市内での居住意向」は全体の約7割を占めている。（「今の場所で住み続けたい」「市内他の地域へ移りたい」の合計）
- 前回調査から「市内他の地域へ移りたい」が2.4ポイント増加し、市内での移動意向が増加がみられる。

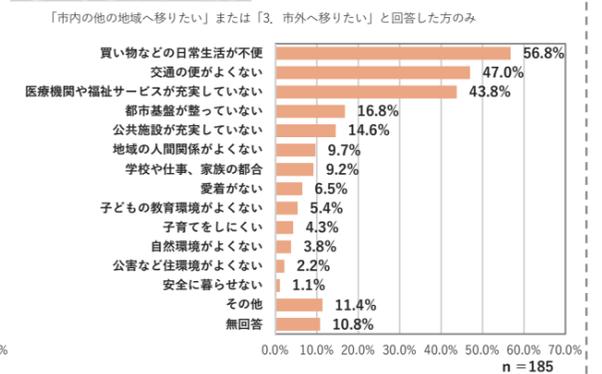
理由

②-1.住み続けたい理由（複数回答）



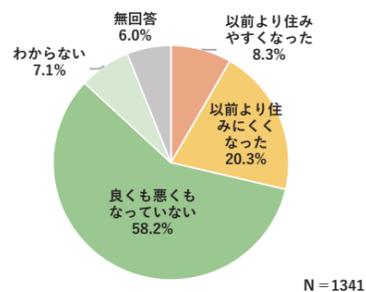
「住み慣れていて愛着がある」が66.5%と最も高い。次いで「自然環境がよい」が58.9%、「安全に暮らせる」が36.7%となっている。

②-2. 移りたい理由（複数回答）



「買い物などの日常生活が不便」が56.8%と最も高い。次いで「交通の便がよい」が47.0%、「医療機関や福祉サービスが充実していない」が43.8%となっている。

③生活環境の変化



N = 1341

- 「良くも悪くもなっていない」が全体の約6割を占めている。
- 「以前より住みやすくなった」よりも「以前より住みにくくなった」が上回り、12ポイント高い。

③-1. 生活環境の変化の理由

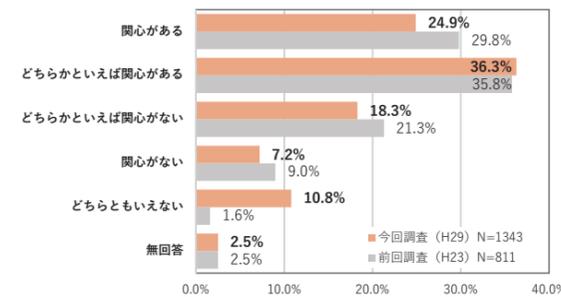
	住みやすくなった理由 n=112	住みにくくなった理由 n=273
1	買い物が便利になった (28件、25.0%) (居住地別) 西部43.2%	店がなくなり買い物が不便 (71件、26.0%) (居住地別) 中央42.0%、温泉津45.0%
2	道路が良くなった (27件、24.1%) (居住地別) 三瓶57.1%、温泉津50.0%	人口減少・少子高齢化 (45件、16.5%) (居住地別) 三瓶46.2%、高山・温泉津25.0%
3	上下水道等の整備 (5件、4.5%) (居住地別) 温泉津25.0%、仁摩18.2%	医療機関が不安 (20件、7.3%) (居住地別) 高山12.5%、温泉津12.5%
4	街がきれいになった (2件、1.8%) (居住地別) 仁摩9.1%	交通の便が悪い (20件、7.3%) (居住地別) 東部12.0%
5	若者が増えた (2件、1.8%) (居住地別) 中央6.5%	地域や近所のつながりが希薄化 (17件、6.2%) (居住地別) 東部12.0%

※居住地別は、全体平均よりも高い上位地域を示す。

- 「買い物」について相反する意見がどちらも1位となっている。
- 「買い物が便利になった」は「西部」で高く、「店がなくなり買い物が不便」は「中央」で高くなっている。

(4) 大田市の行政について

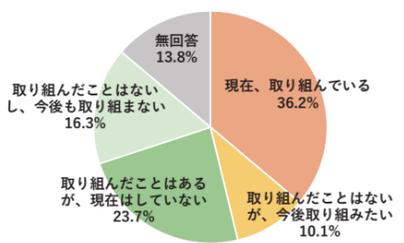
①行政への関心



- 『大田市の行政に関心がある』は全体の約6割を占めている。
(「関心がある」「どちらかといえば関心がある」の合計)
- 前回調査から「関心がある」が4.9ポイント減少している。

(2) 地域活動(まちづくり)について

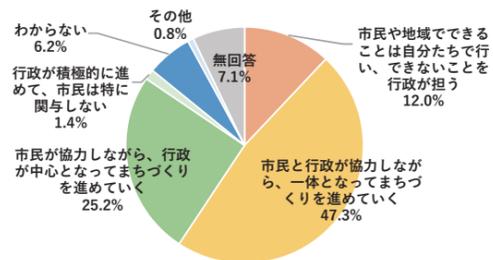
①地域活動の取り組み



N = 1341

- 「現在、取り組んでいる」が全体の約4割を占めている。
- 一方、地域活動未経験者のうち、「今後取り組みたい」よりも「今後も取り組まない」が上回り、6.2ポイント高い。

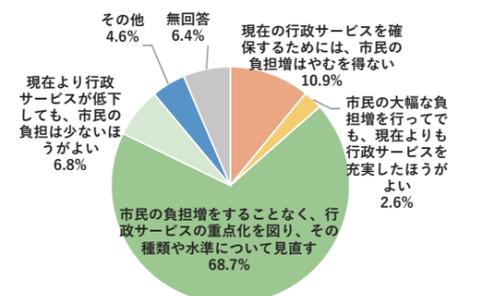
②地域活動の市民と行政の役割分担



N = 1341

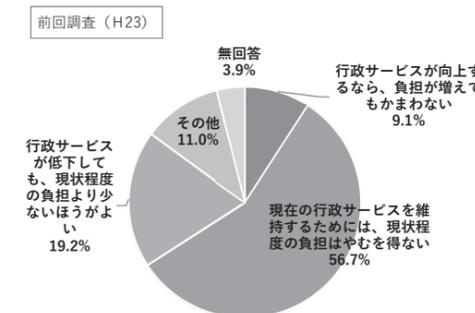
- 「市民と行政が協力しながら、一体となってまちづくりを進めていく」が全体の約5割を占めている。

②行政サービスのあり方



N = 1341

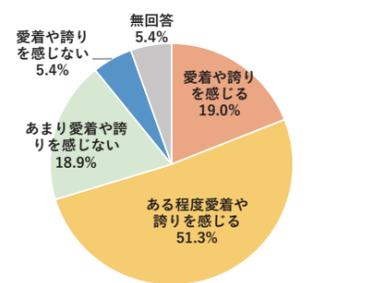
- 「市民の負担増をすることなく、行政サービスの重点化を図り、その種類や水準について見直す」が全体の約7割を占めている。
- 前回調査から「現在より行政サービスが低下しても市民の負担は少ないほうがよい」は12.4ポイント減少しており、負担とサービスのバランスにおいて、一定の行政サービスの維持を必要としていることが伺える。



N = 811

(3) 大田市について

①大田市への愛着や誇り



N = 1341

- 『大田市に愛着や誇りを感じている』は全体の約7割を占めている。
(「愛着や誇りを感じる」「ある程度愛着や誇りを感じる」の合計)

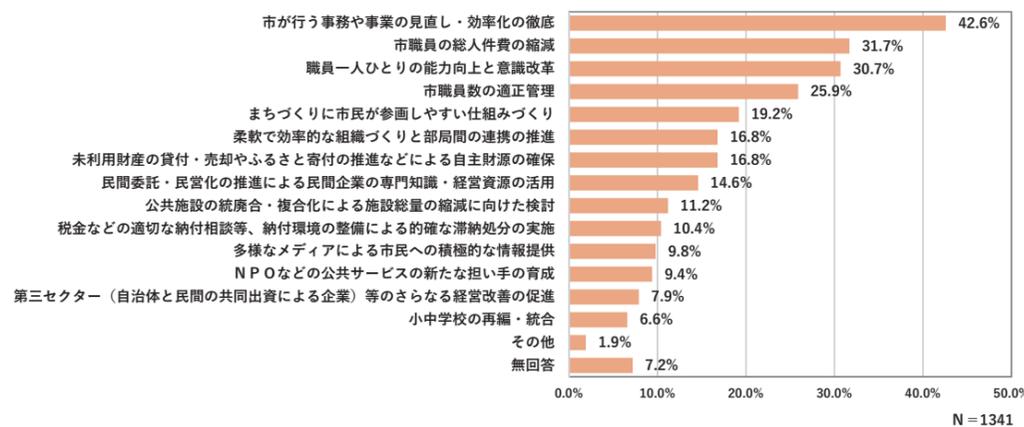
②大田市のセールスポイント(自慢できること)・今後の心配ごと(複数回答)

	セールスポイント(自慢できること)	今後の心配ごと
1	自然環境や温泉に恵まれている (54.0%) (居住地別) 温泉津70.4%、三瓶67.1%、	地域の医療機関や体制 (39.7%) (居住地別) 三瓶48.6%、温泉津42.6%
2	世界遺産「石見銀山遺跡とその文化的景観」(41.0%) (居住地別) 三瓶44.3%、中央43.3%	自分や家族の健康 (32.1%) (居住地別) 高山43.3%、温泉津36.1%
3	犯罪・事故や災害が少ない (37.0%) (居住地別) 仁摩40.1%、西部39.6%	少子化や若者の流出 (31.1%) (居住地別) 西部34.5%、東部32.4%
4	大山隠岐国立公園「三瓶山」(29.9%) (居住地別) 三瓶54.3%、中央36.2%	高齢者・障がい者に対する福祉 (26.4%) (居住地別) 中央29.9%、東部29.5%
5	地場産品や食べ物が美味しい (20.1%) (居住地別) 東部22.8%、西部22.7%	中心市街地や商店街の賑わい低下 (22.1%) (居住地別) 中央31.1%、西部23.5%

- セールスポイントは「自然や環境に恵まれている」が54.0%と最も高い。
- 今後の心配ごとは「地域の医療機関や体制」が39.7%と最も高い。地域別では「三瓶」や「温泉津」で割合が高くなっている。

※居住地別は、全体平均よりも高い上位地域を示す。

③今後の行財政改革の優先的な取り組み(複数回答)



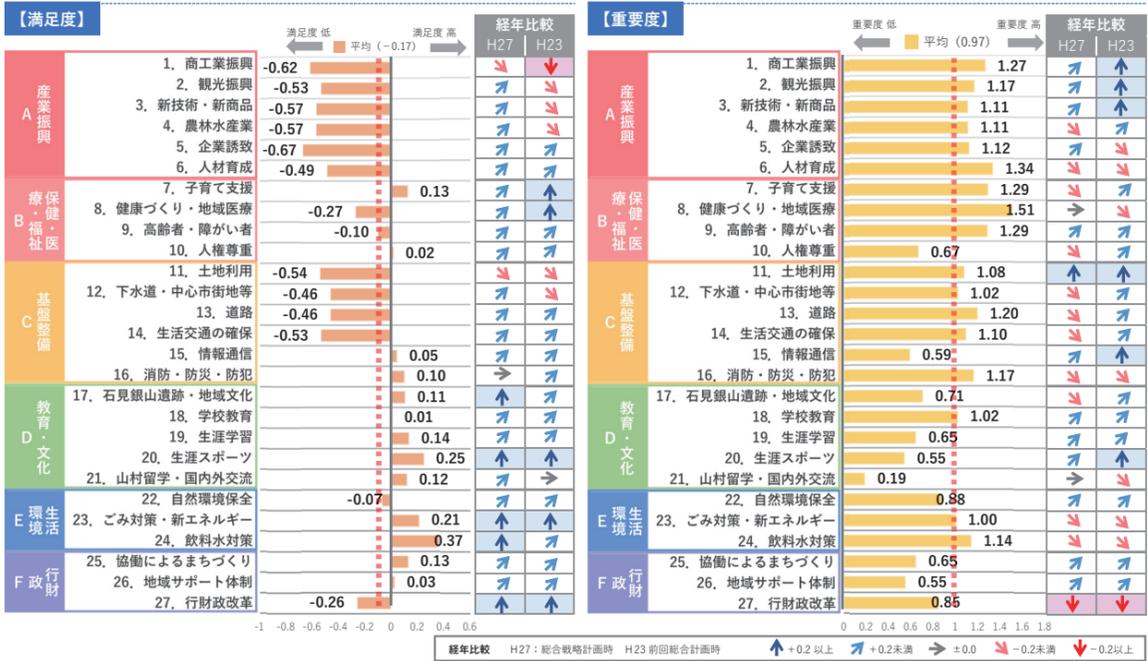
N = 1341

- 「市が行う事務・事業の見直し・効率化の徹底」が42.6%と最も高い。次いで「市職員の総人件費の縮減」が31.7%、「職員一人ひとりの能力向上と意識改革」が30.7%となっており、行財政改革として、事務や事業の見直しや市職員に関する事項が上位となっている。

(5) 施策の「満足度」と「重要度」

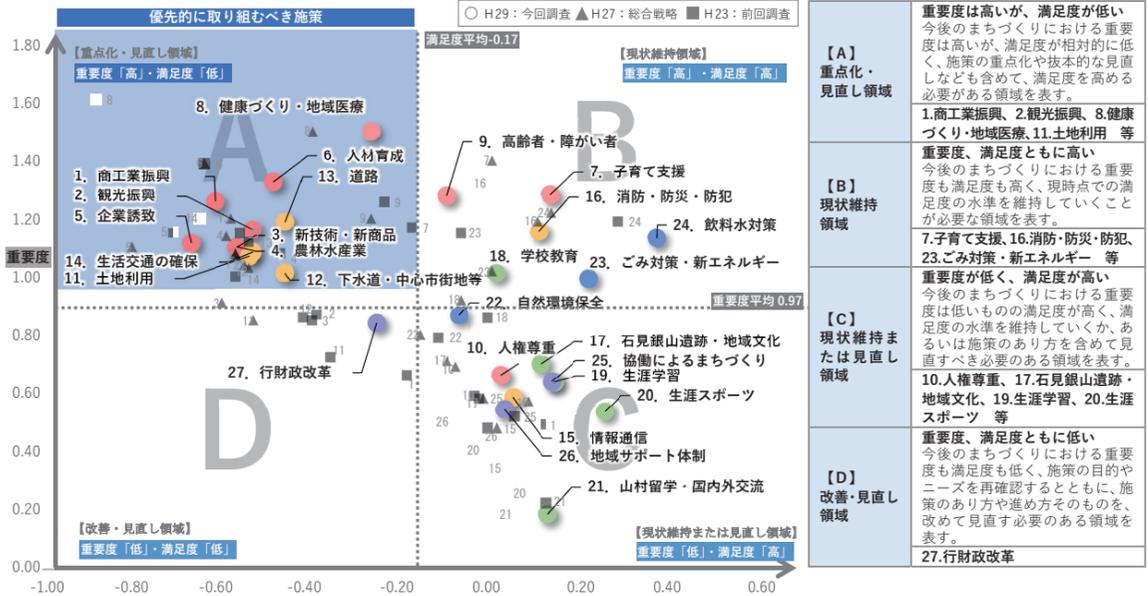
① 施策の「満足度」と「重要度」の指標化

施策の「満足度」と「重要度」をより的確に分析するため以下のように係数（ウエイト）を設定し、加重平均による指標化を行った。
 「満足」の件数×2点+「やや満足」の件数×1点+「どちらともいえない」の件数×0点+「やや不満」の件数×-1点+「不満」の件数×-2点 ÷ (回答者件数-無回答件数)
 「重要」の件数×2点+「やや重要」の件数×1点+「どちらともいえない」の件数×0点+「あまり重要でない」の件数×-1点+「重要でない」の件数×-2点 ÷ (回答者件数-無回答件数)



- 施策大綱別では「D教育・文化」、「E生活環境」は満足度が高く、「A産業振興」、「C基盤整備」は低くなっている。
- 経年比較では「1.商工業振興」、「11.土地利用」で満足度が低くなっている。その他は、概ね満足度は上がっており、増加傾向である。
- 施策大綱別では「A産業振興」「B保健・医療・福祉」は重要度が高く、「D教育・文化」「E行財政」は低くなっている。
- 経年比較では「1.商工業振興」から「3.新技術・新商品」等の「A産業振興」の施策は経年的に重要度が上がっている。

② 施策に関する満足度と重要度の相関図



第2次大田市総合計画策定に係る高校生アンケート調査結果

1 調査概要

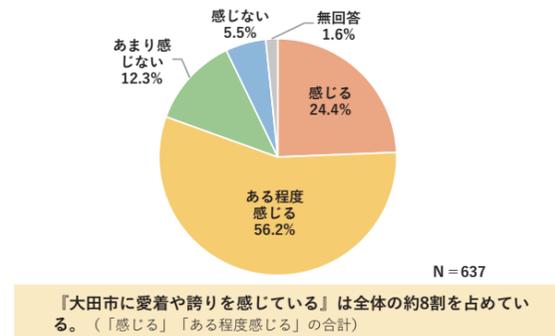
本調査は、第2次大田市総合計画の策定にあたり、大田市の若者の流出を食い止め、将来的にUターンしたくなる大田市の将来像を描くため、今後のまちづくりに関する意見について、次世代を担う若者から把握し、「大田市第2次総合計画」策定の基礎資料とすることを目的とする。

調査期間	平成29年9月下旬～平成29年10月上旬
調査対象	市内の高等学校（大田高校、遼摩高校、遼摩分校）
標本数	市内の高等学校に通学する全生徒（693人）
抽出方法	全数調査
調査方法	学校内での配布・回収調査
有効回収数	673件（有効回収率97.1%）

2 調査結果

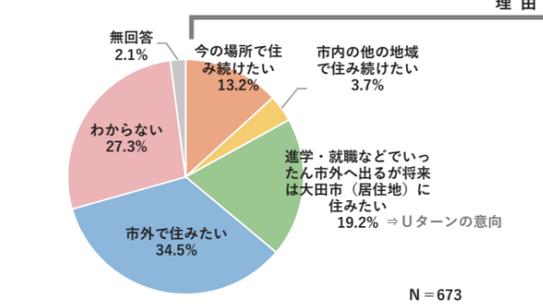
(1) 大田市について

① 大田市への愛着や誇り



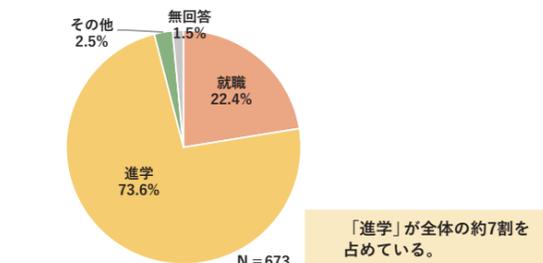
(2) 卒業後について

① 居住意向



「市外で住みたい」が全体の約3割を占め、Uターンの意向も含めると、全体の約5割が卒業後に市外へ離れる意向となっている。

② 進路希望

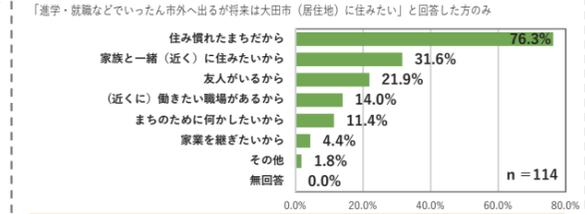


③ 就きたい仕事（複数回答）

1 医療・看護師	19.5%	6 保育士	6.4%
2 公務員	11.7%	7 福祉関係	5.3%
3 教員	7.9%	8 商店、飲食店関係	5.3%
4 製造業（工場）関係	7.1%	9 建設業関係（設計、建築、土木）	4.5%
5 コンピューター、情報・通信関係	6.8%	10 スポーツ関係	4.3%
		決まっていない	17.8%

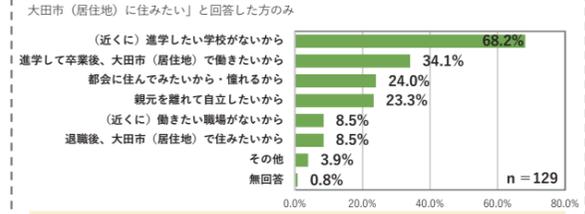
「医療、看護師」が19.5%と最も高い。次いで「公務員」11.7%、「教員」7.9%となっている。就きたい仕事「決まっていない」は17.8%となっている。

①-1. 住み続けたい理由（複数回答）



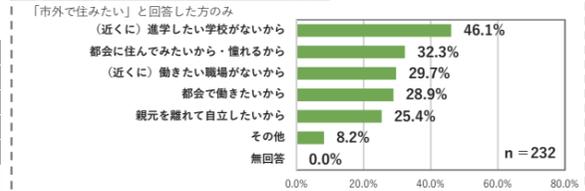
「住み慣れたまちだから」が76.3%と最も高い。次いで「家族と一緒に（近く）に住みたいから」が31.6%、「友人がいるから」が21.9%となっている。

①-2. いったん市外へ出るが将来は大田市に住みたい理由（複数回答）



「（近くに）進学したい学校がないから」が68.2%と最も高い。次いで「進学して卒業後、大田市（居住地）で働きたいから」が34.1%、「都会に住んでみたいから・憧れるから」が24.0%となっている。

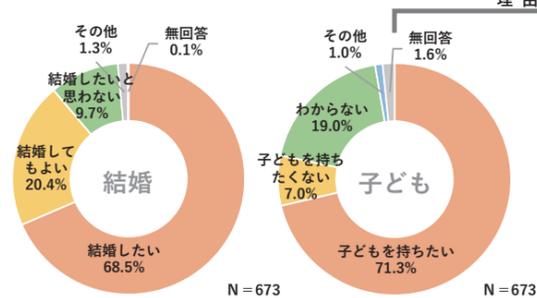
①-3. 市外で住みたい理由（複数回答）



「（近くに）進学したい学校がないから」が46.1%と最も高い。次いで「都会に住んでみたいから・憧れるから」が32.3%、「（近くに）働きたい職場がないから」が29.7%となっている。

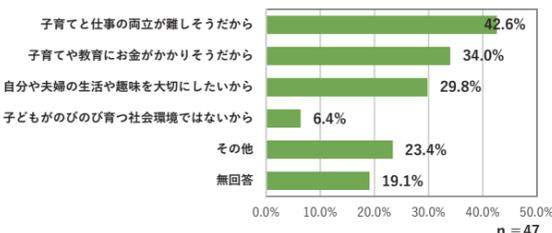
(3) 結婚・子育てについて

①結婚・子どもの意向



- 「結婚に対する意向」は全体の約9割を占めている。（「結婚したい」「結婚してもよい」の合計）
- 「子どもを持ちたい」は全体の約7割となっており、結婚の意向に対して低くなっている。

①-1. 子どもを持ちたくない（複数回答）理由



- 「子育てと仕事の両立が難しそうだから」が42.6%と最も高い。次いで、「子育てや教育にお金がかかりそうだから」が34.0%、「自分や夫婦の生活や趣味を大切にしたいから」29.8%となっている。

②大田市での結婚・子育ての安心面・不安面

【結婚に関する安心面・不安面】	
安心面 n=339	不安面 n=315
1 地域や近所の人が良い・近所づきあい良い 14.2%	1 買い物できる店が少なく不便 21.3%
2 田舎・落ち着いた・のんびりした住環境 12.1%	2 就職面での不安 13.3%
3 自然が豊か・良い 11.5%	3 結婚自体に関する意見 10.2%
4 結婚自体に関する意見 11.2%	4 人口減少・人が少ない・同年代の人が少ない・出会いがない 7.0%
5 住みやすい・住み慣れている・親が近くにいる 9.7%	5 遊ぶところが少ない 5.7%
6 住宅・土地が取得しやすい 9.4%	6 交通の便が悪い 5.4%
7 治安が良い・安全・安心に暮らせる 4.4%	7 住む場所がない 2.9%
8 買い物・病院等の施設 2.4%	8 不便 1.6%
9 大田市の人口が増える 0.9%	9 災害の危険 0.6%
10 保育園の施設 0.6%	10 治安が悪い・危険な場所がある 0.6%

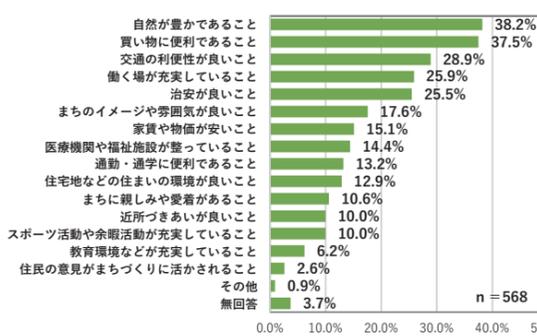
- 安心面では、「地域や近所の人が良い、近所づきあい良い」が14.2%と最も高い。
- 不安面では、「買い物できる店が少なく不便」が21.3%と最も高い。

【子育てに関する安心面・不安面】	
安心面 n=423	不安面 n=362
1 自然が豊か・ふれあえる 26.7%	1 公園や子どもの遊べる場所が少ない 12.7%
2 保育園が多い、入りやすい 12.8%	2 買い物等が不便、施設が少ない 12.7%
3 子どもの医療費がかからない 10.6%	3 人口減少・同年代の子どもが少ない 9.1%
4 治安が良く安全・安心 9.9%	4 病院・医療の環境が不十分 8.3%
5 地域や近所の人が良い、親が近くにいる 8.0%	5 保育園が少ない、保育の環境が不十分 7.2%
6 子ども自体に関する意見 7.3%	6 学校・教育環境が悪い 6.4%
7 田舎・静か・のびのび 3.5%	7 経済的な負担が大きい 6.1%
8 環境が良い 3.5%	8 育児自体の心配（自由が無くなる、育児が大変等）6.1%
9 公園の充実、遊び場がある 2.4%	9 交通が不便 3.9%
10 施設が整っている 1.9%	10 道路の環境が悪い（夜暗い、歩道狭い等）2.8%

- 安心面では、「自然が豊か・ふれあえる」が26.7%と最も高い。
- 不安面では、「公園や子どもの遊べる場所が少ない」が12.7%と最も高い。

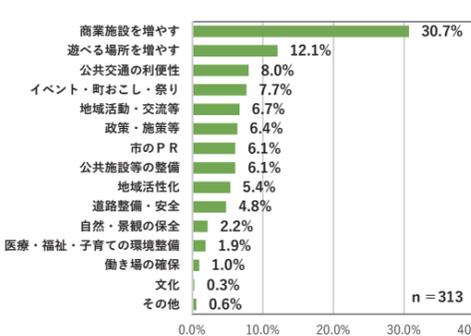
(4) 今後の大田市について

①大田市に住み続けて行く場合に重要なこと（複数回答）



- 「自然が豊かであること」が38.2%と最も高い。次いで「買い物に便利であること」が37.5%、「交通の利便性が良いこと」が28.9%となっている。

②大田市が良くなるアイデア



- 「商業施設を増やす」が30.7%と最も高い。次いで「遊ぶ場所を増やす」が12.1%、「公共交通の利便性」が8.0%、「イベント・町おこし・祭り」が7.7%となっている。

7) 主要事業等

※まち・ひと・しごと創生総合戦略の事業について、事業名に○

I 産業づくり 多様で活力ある「産業」をつくる

1 地域経済が活性化する環境づくり

No.	事業名	事業の概要
1	仁摩地区道の駅整備事業	山陰道の全線開通を好機と捉え、観光や食、伝統芸能といった大田市の魅力の発信拠点として、仁摩・石見銀山IC出口正面に、道の駅を整備する
2	大田市産業支援推進事業	地場産業の振興や新産業の創出、地域産業を担う人づくりなど、総合的な産業活動を支援することを目的とした大田市産業支援センターに係る活動経費及び産業支援人材バンク制度にかかる経費
3	大田市産業活性化支援事業	市内での創業や商品開発等を支援する ○ふるさと大田起業・創業支援事業 ○中小企業等活性化総合支援事業 ○産業振興施策パンフレット作成
4	誇れる大田産品推進事業	大田市の特産品や食材のPR、また販路開拓やブラッシュアップの取り組み等を支援するほか、関係機関と連携し、アナゴの特産化に取り組む

2 企業の振興による活力ある地域づくり

No.	事業名	事業の概要
5	大田市輝く若者ビジネスプランコンテスト	大田市の将来を支える若者を対象に、起業・創業を希望する者の事業計画を募集し、審査の上、地域課題等を解消することにつながる新規事業に対し補助を行う
6	石州瓦等利用促進事業	石州瓦や市産木材の利用を促進し、地場産業の活性化を図るため、その経費の一部を助成する
7	産業人材育成・確保促進事業	市内事業者の人材育成の取り組みや高校生等を対象としたキャリア教育の支援、大学生等を対象に行うUIターン就職を促進するイベント等を実施する
8	事業承継支援体制整備事業	大田商工会議所に事業承継推進員を設置し、案件掘り起しや各種相談対応など、事業承継支援全般に取り組む

3 世界から愛される観光都市づくり

No.	事業名	事業の概要
9	ヘルスツーリズム推進事業	観光業をはじめとした地域の産業振興と健康増進を図るため、様々な地域資源を活用した滞在型ヘルスツーリズムのプログラム造成支援や、健康プログラムを提供する組織への助成を行う
10	国立公園満喫プロジェクト	訪日外国人をはじめとした国立公園の来訪者に三瓶エリアの魅力を感じさせるため、ステップアッププログラムを基に三瓶エリアの滞在性、周遊性の向上につながる事業を実施する
11	観光協会補助	観光協会の組織体制強化と組織の自立に向けた費用の一部を助成する
12	石見の国おだ観光振興事業	石見銀山遺跡や国立公園三瓶山、温泉津温泉などの市内観光資源を活用し、現地周遊・滞在を促すため、観光誘客活動、誘客宣伝、観光動態調査等を実施する
13	おだの輝き発信事業	大田市の多様な魅力を発信するため、観光情報説明会、島根ふるさとフェアへの参加やノベルティグッズの作成、おもてなし研修、集客イベント等を実施する
14	石見神楽振興事業	大田市の伝統芸能である石見神楽を活用し、市内外からの誘客、滞在を促し、宿泊数増加を図るため、神楽公演の開催に対し助成を行う
15	大田市観光施設改修事業	安心・安全な施設運営により、観光客の増加を図るため、老朽化した施設・設備の計画的な改修・更新を実施する

4 稼ぐ農林水産業による地域経済の活性化

No.	事業名	事業の概要
16	経営所得安定対策等直接支払推進事業	経営所得安定対策等や需要に応じた生産推進体制支援を行う農業再生協議会に対し、補助金を交付する
17	中山間地域等直接支払交付金交付事業	多面的機能を有する中山間地域等の条件不利地における農用地の保全活動に対し、その取り組みを支援するため交付金を交付する
18	有害鳥獣(イノシシ等)被害対策事業	有害鳥獣による農作物被害の拡大を防止し、農業生産物の安定確保を図るため、農業者と鳥獣被害対策実施隊が共同で取り組む有害鳥獣の駆除、防除等被害防止対策を推進する
19	新規就農者総合対策事業	地域農業の担い手を確保・育成するため、認定新規就農者等が経営に必要とする施設等整備の支援や経営開始直後の新規就農者への支援、Uターン者への支援を行う
20	機構集積協力金交付事業	担い手への農地集積や分散化した農地の連担化が円滑に進むよう、集積に協力する農地所有者等を支援する
21	持続的生産強化対策事業	産地の持続的な生産力強化を図るため、大田市重点園芸振興作物である5品目(アスパラ・白ネギ・ぶどう・メロン・キャベツ)について、新たにリースハウスを設置する費用等を助成する
22	環境保全型農業直接支払交付金交付事業	農業者が環境保全に効果の高い営農活動に取り組めるように交付金を交付する
23	肉用牛振興対策事業	県内有数の和牛生産地である大田市の畜産農家が、安心して生産・出荷できる環境整備を行うとともに、石見銀山和牛のブランド化を図る
24	多面的機能支払交付金事業	農業集落の多面的機能を支える共同活動を支援し、農地集積、担い手の拡大を推進するとともに、地域資源(農地・水路・農道等)の資質向上や長寿命化に向けた活動を支援する
25	県営土地改良事業負担金	和田3期地区農道整備事業外10事業にかかる県事業負担金を支出する
26	農業農村整備事業	農業・農村の果たす機能を維持・発展させるための農業生産基盤の整備・保全、生活環境の整備を行う
27	島根県林業公社受託造林事業	島根県林業公社、土地所有者、大田市が3者で分取林契約を締結した森林について、島根県林業公社より大田市が事業を受託し、施業を実施する
28	森林(もり)づくり推進事業	主伐による原木増産や市内事業者の人材育成など、地場資源の活用を進めることにより、地域産業(川上、川下)の活性化と雇用創出の実現を目指すとともに、森林の持つ公益的機能を高める
29	全国植樹祭推進事業	2020年に三瓶山北の原で開催される第71回全国植樹祭の準備を行う
30	森林環境整備事業	「大田市未来につなぐ森づくり構想」の実現を目指して、循環型林業を推進し、林業・木材産業の成長産業化に向けた取組みを実施する
31	造林事業	森林整備を計画的に推進し、森林の有する公益的機能の維持・増進と森林環境の保全を図り、安定的な原木供給と適切な森林管理運営を実現する
32	栽培漁業推進事業	あわび稚貝の放流事業への補助やヒラメ稚魚の中間育成及び放流事業に対する負担金を支出する

5 若者を引きつける多様な働き場の創出

No.	事業名	事業の概要
33	IT産業育成推進事業	IT関連産業の起業や誘致を推進し、雇用創出、人材確保・育成を図るため、インキュベーションルームの開設やIT体験講座などに取り組む
34	企業誘致対策事業	産業振興と雇用の促進を図るため、企業誘致活動や誘致企業のフォローアップを行う
35	新工業用地候補地調査検討事業	新たな工業用地の適地調査及び検討を行う

No.	事業名	事業の概要
36	工業団地内道路整備事業	大田市工業団地(鳥越)内の市道路盤・路床及び一部側溝の改修を年次的に行う

6 未来を担う産業人財の育成と確保

No.	事業名	事業の概要
37	若手後継者・経営者人財育成事業	市内経済団体やしまね産業振興財団などの支援機関と連携し、第一線で活躍する経営者等を講師に招き、実践的な経営力を養う人財育成塾を開催する

II 豊かな心づくり ふるさとを愛する「豊かな心」をつくる

1 ふるさと愛と生き抜く力を育む学校教育の推進

No.	事業名	事業の概要
38	英語指導外国青年招致事業	児童生徒の英語能力の向上と国際感覚の高揚を図るため、外国青年5名を雇用し、市内小中学校の巡回指導を行う
39	特別支援教育体制推進事業	発達障がいを含む障がいのある幼児・児童・生徒への適切な教育的支援を推進するため、相談業務を行うとともに、必要に応じて教室への支援員及び介助員を配置する
40	児童生徒支援事業	いじめや不登校等の諸課題を解決するため、適応指導事業やSSW活用事業、心のかけ橋事業等の事業を実施する
41	小中高魅力化推進事業(教育魅力化推進事業)	小中学校や市内県立高校において地域の特色を活かした魅力ある教育を推進するため、保幼小中高の連携、地域と連携した学習活動、ふるさと教育、学校現場での業務改善などに取り組む
42	就学前教育推進事業(教育魅力化推進事業)	貸出用図書の整備を行うとともに、子ども読書活動巡回指導員(1名)による、幼稚園・保育園への巡回指導を行う
43	学力・教育力向上プロジェクト事業(教育魅力化推進事業)	学力・教育力向上を図るため、複式学級への学習支援員の配置、児童生徒の学びの場開設、学習指導要領改訂に伴う指導者研修会、学級集団アセスメント検査等を実施する
44	教育魅力化統括プロデューサー配置事業(教育魅力化推進事業)	大田市の教育魅力化を総合的かつ効果的に推進するため、教育魅力化統括プロデューサー1名を配置する
45	教育魅力化コーディネーター配置事業(教育魅力化推進事業)	市内小中高の特色ある教育活動を支援し、教育魅力化を図るため、教育魅力化コーディネーター2名を高校に配置する
46	小中高教育魅力化コーディネーター配置事業	市内小中高の特色ある教育活動を支援し、教育魅力化を図るため、教育魅力化コーディネーター1名を教育委員会に配置する
47	派遣指導主事配置事業	学力育成に向けた教員の授業力向上、生徒指導等における学校支援のため、島根県教育委員会から派遣主事3名の派遣を受ける
48	学校ネットワーク更新事業	情報教育用パソコン及び校務用パソコンを計画的に更新する
49	「読み調べ学ぶ力漲る学校図書館」事業	学校図書館活用教育を推進し、児童生徒の心を育み、思考力・判断力・表現力等を育成するため、学校司書20名を配置する
50	中学校大規模改修事業	第二中学校屋体の大規模改修工事を行う

2 主体的に地域を担う人材の育成

No.	事業名	事業の概要
51	「公民館はまちの力」推進事業	ESD(持続可能な社会の担い手を育む教育)の視点に立ったワークショップの開催や調査研究、職員研修などを公民館が合同で実施する
52	学校・家庭・地域の連携による教育支援事業	次世代を担う人材を育成するため、学校・家庭・地域住民が連携し、学校支援活動、放課後子供教室の開催、家庭教育支援活動を行う

3 自然、歴史、伝統文化の継承と魅力向上

No.	事業名	事業の概要
53	日本遺産認定(火山由来の地域資源)推進事業	日本遺産認定を目指している火山由来の地域資源について、機運醸成を図るため、再発見と活用に向けたシンポジウム・ワークショップを開催する
54	石見銀山協働推進事業	石見銀山協働会議により策定された「石見銀山行動計画」について全体会で進行管理を行うとともに、協働会議の活動を支援する
55	石見銀山基金事業	民間団体が行う石見銀山遺跡の保全活用に向けた取組みを基金を活用し支援する
56	石見銀山基金新規積立金	世界遺産石見銀山遺跡を未来へ確実に継承していく財源を確保するため、地域住民や企業等からの寄附金を積み立てる
57	街なみ環境整備事業	温泉津温泉街(市道湯乃街線)において、舗装の美装化等の景観整備を行う
58	天然記念物管理保護事業	国の天然記念物「琴ヶ浜」の保存活用計画策定や清掃作業及び市指定天然記念物「定め」の樹勢回復作業を行う
59	日本遺産認定推進事業	「石見銀山街道」の日本遺産認定に向けて要望活動等を行うとともに、関係7市町で設立した推進協議会へ負担金を支出する
60	石見銀山遺跡総合調査事業	石見銀山遺跡の価値確認と保存管理の資料を得るために発掘調査を行うとともに、出土した遺物の保存処理を実施する
61	石見銀山遺跡総合整備活用事業	世界遺産石見銀山遺跡の保存活用を図るため、各種整備活用工事や銀山街道の災害復旧工事を実施する
62	重要伝統的建造物群保存地区整備事業	大森銀山及び温泉津の各伝建地区を保存するため、建造物等の修理・修景費補助を実施するとともに、温泉津地区における防災施設を整備する
63	国指定文化財保存修理事業	豊栄神社、佐毘売山神社、鞆ヶ浦地区の港灣集落民家の保存修理費に対し助成を行う
64	島根県指定文化財修理事業補助	県指定史跡「石見銀山御料郷宿田儀屋遺宅青山家」の保存修理費に対し助成を行う
65	石見銀山学形成事業	石見銀山遺跡の保護保存意識の高揚を図り、地域力を高める地域学を形成していくため、市民参加により概説書を編集、刊行するとともに、石見銀山学講座を開催する
66	石見銀山遺跡落石対策事業	地域住民及び来訪者の安全確保と史跡の保護を目的として、石見銀山遺跡地内の落石対策工事を行う島根県に負担金を支出する

4 芸術文化の振興

No.	事業名	事業の概要
67	「文化はまちの力」推進事業	大田市芸術文化振興計画に基づき、文化財保存団体等活動補助、大田市文化協会補助、難波利三ふるさと文芸賞選定事業、文化人顕彰事業等を行う
68	本因坊道策顕彰等囲碁振興事業	大田市出身で棋聖と称えられる本因坊道策名人を顕彰し、囲碁によるまちづくりを推進するため、小中学校での普及事業やプロ棋士を招聘した記念囲碁大会を開催する

5 スポーツ活動を通じた心身の健康と充実したスポーツライフの推進

No.	事業名	事業の概要
69	激励金交付事業	文化・スポーツ等の振興を図るため、各種全国大会及び国際大会に出場する市民等へ激励金を交付する
70	スポーツ推進事業	スポーツを通じた市民の心身の健康保持増進や地域の一体感及び活力を醸成するため、スポーツ推進計画に基づき三瓶高原クロスカントリー大会補助や大田市体育協会補助等を行う

6 ふるさとの自然と文化を活用した交流の推進

No.	事業名	事業の概要
71	交流推進事業	姉妹都市「韓国・大田廣域市」との青少年交流や友好都市「笠岡市」との交流事業助成を行う
72	井戸平左衛門賞に係る笠岡市中学生との交流事業	友好都市笠岡市の井戸平左衛門賞を受賞した中学生と大田市の中学生の交流事業を実施する
73	山村留学推進事業	山村留学センターにおいて、長期及び短期の山村留学事業を実施する
74	山村留学魅力化コーディネーター配置事業	山村留学事業の魅力化を推進し、大田市教育の魅力をけん引する目的でコーディネーター1名を配置する

III 暮らしづくり だれもが住みよい「暮らし」をつくる

1 結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境づくり

No.	事業名	事業の概要
75	乳幼児等医療給付事業	保護者の経済的負担の軽減を図るため、県助成制度にあわせ、市単独助成により乳幼児等の医療にかかる自己負担を無料化する
76	子ども医療費助成事業	保護者の経済的負担の軽減を図るため、義務教育期間の子どもの医療費について、市単独助成により無料化する
77	地域子育て応援事業	地域子育て支援センター事業やファミリーサポートセンター事業、子育て支援情報発信などにより、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感を緩和し、子どもの健やかな育ちを総合的に支援する
78	認可外保育施設保育料軽減事業	認可外保育施設に入所している児童の保育料について、認可保育施設同様の保育料軽減(無償化対策含む)になるように補助を行う
79	第2期子ども・子育て支援事業計画策定事業	大田市における教育・保育及び地域の子ども・子育て支援施策を総合的に推進するための計画を策定する
80	子ども・若者支援体制等整備事業	子ども・若者育成支援推進法に基づき、社会参加に困難を抱える子ども・若者に対する居場所の提供や社会体験活動等の支援を実施する
81	保育所特別事業	私立保育所等において、一時預かり(一時保育)、延長保育、地域活動事業、病児保育(病後児型・体調不良児型)を実施する
82	障がい児保育事業補助	障がい児の保育を促進するため、障がい児の受入れに取り組む私立保育所等に対し補助金を交付する
83	放課後児童健全育成事業	両親共働き等で昼間家庭に保護者のいない児童の、健全育成のための放課後児童クラブの運営費を補助する
84	放課後児童健全育成施設整備事業	放課後児童クラブの施設整備に対して補助金を交付する
85	保育士確保対策事業	市外在住の保育士資格を有する者が大田市へ定住し保育士として就労する場合や、市内在住の潜在保育士が再び保育士として働く場合に奨励金を交付する
86	母子家庭等自立支援給付金事業	母子家庭の母、父子家庭の父の就業による自立を促進するため、資格取得等にかかる経費を助成する
87	子どものための教育・保育給付事業	教育・保育施設(認定こども園・保育所)及び地域型保育事業所に対する給付費を支給する
88	母子保健活動事業	母子保健法に基づく、健康教育、健康相談及び保健師、助産師、母子保健推進員等による家庭訪問の実施、一般不妊治療費の助成を行う
89	産後ケア事業	産後に精神的不調のある母親を早期に把握し、心理的な安定を図り、健やかな育児ができるように支援を行う

No.	事業名	事業の概要
90	母子健康包括支援事業	母子保健法に基づき、母子健康包括支援センターを設置し、妊産婦や乳幼児等に対して切れ目のない相談及び支援を行う
91	歳入 保育料軽減措置	国の徴収基準額以下での保育料の設定、保育料階層の細分化のほか、第3子以降の児童にかかる保育料を3歳未満児は免除、3歳以上児は1/3を軽減する

2 生涯を通じた健康づくり

No.	事業名	事業の概要
92	おおだ健やかプラン策定事業	第3期大田市健康増進計画、大田市健やか親子計画、第2期大田市食育推進計画を統合し、一体的に推進する「おおだ健やかプラン」を策定する
93	食育推進事業	第2期大田市食育推進計画に基づき、食育の実践に向けた啓発活動と食育ボランティアへの活動支援を行う
94	こころと命のサポート事業	総合的な自死対策を推進するため、大田市自死対策計画に基づき、ゲートキーパー養成研修、健康づくり優良事業所表彰、相談窓口の周知等を行う
95	がん検診事業	がんの早期発見、早期治療を推進するため、各種がん検診を実施することにより、市民の健康の保持増進を図る
96	健康づくり推進事業	まちづくりセンター単位に「健康づくり推進協議会」を設置、自治会単位に「健康づくり推進員」を配置して、地域での健康づくり事業を実施する

3 地域を守る医療体制の充実

No.	事業名	事業の概要
97	地域医療確保対策事業	将来的な医療体制確保を目指したあり方検討会の開催、医療従事者の育成確保に向けた環境づくり、休日診療や医療に関する市民啓発など、地域医療の確保に向けた各種施策に取り組む
98	総合医療学講座事業	当市の寄附により開設されている島根大学医学部の総合医療学講座及び大田総合医育成センターによる総合医育成の取組みを通じて、市立病院の医師確保と診療機能、臨床研修機能の充実を図る
99	在宅医療・介護連携推進事業	在宅医療を推進し、地域包括ケアシステムの構築に向け、訪問診療及び訪問看護に取組む医療機関等への支援を行う
100	病院事業会計負担金	病院事業会計に対する一般会計負担金を支出する

4 地域の支え合いの中で安心して暮らし続けることができる社会の実現

No.	事業名	事業の概要
101	地域福祉支え合い推進事業	住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる体制づくり及び育児、介護、障がい、貧困など、世帯全体の複合化・複雑化した課題を包括的に受け止める総合的な相談支援体制づくりを支援する
102	生活困窮者自立相談支援事業	生活保護に至る前の生活困窮者への早期支援を行うため、総合支援窓口を設置する
103	障がい者福祉施設整備費補助事業	障がい者福祉施設の整備に要する費用の一部を助成する
104	地域生活支援事業	障がい者(児)が、自立した日常生活・社会生活を営むことができるよう総合的に支援する
105	障がい者自立支援給付事業	障がい者総合支援法に基づき、介護給付費、訓練等給付費、相談支援給付費、補装具給付費等を給付する
106	障がい者医療給付事業	障がい者(児)に対し、障がいを軽減・回復するための自立支援医療費及び療養介護医療費を給付する
107	老人福祉推進事業	高齢者の福祉の増進を図るため、生活支援ハウス(高齢者生活福祉センター)の事業委託などを行う
108	障がい児通所支援事業	療育の必要がある障がい児に対し、児童発達支援費、放課後等デイサービス費、保育所等訪問支援費、サービス利用計画費を給付する

5 心豊かに誇りをもって共に暮らせる社会の実現

No.	事業名	事業の概要
109	多文化共生事業	多文化共生社会の実現に向け、国際交流員の配置や多文化共生推進計画(仮称)の策定を行う
110	人権啓発推進事業	市民一人ひとりの人権が尊重される社会の実現を目指し、講演会や研修会の開催、人権施策に関する情報発信、調査研究等を実施する

IV 都市基盤づくり ぐらしや交流を支える「都市基盤」をつくる

1 魅力的で活気ある都市環境の形成

No.	事業名	事業の概要
111	浄化槽設置整備事業	公共用水域の保全を目的に浄化槽を設置する者に対し、設置費用を助成する
112	地籍調査事業	久手、福田、川合地区において地籍調査を行う
113	大田市駅東側まちづくり事業	今後の駅周辺のまちづくりについて地権者、関係者等との協議を行うとともに、大田市駅周辺東側土地区画整理事業の実施に向け、調査設計等を実施する
114	空き家対策事業	老朽化が進み危険な状態にある空家等の除却を行う者に対して、除却費用の補助を行う
115	街路整備事業	市街地の東側幹線である栄町高禅寺線の菜洗橋(L=43.8m)の架け替え工事を実施する
116	都市公園整備事業	大田総合体育館等の都市公園施設について、計画的に更新、改築、修繕を実施する

2 交流を支えるネットワークの形成

No.	事業名	事業の概要
117	自営光網設備等管理費	自営光網及びケーブルテレビ網(第2期エリア)の維持管理等を行う
118	第2期ケーブルテレビエリア光化促進事業	第2期ケーブルテレビエリアに敷設された伝送路のうち、同軸ケーブルを光ケーブルへ更新する
119	地域交通対策事業	地域住民にとって必要不可欠な生活バス路線(17路線)を維持する。併せて今後の効率的、効果的な市内の生活交通体系を構築していく
120	道路維持事業	市道の維持・舗装補修工事、除草・維持管理・パトロール等保全事業を実施する
121	辺地対策道路整備事業	市道三瓶高原線の舗装改築を行う
122	過疎対策道路整備事業	市道2路線の道路改良工事を実施する
123	社会資本整備総合交付金事業	市道2路線の道路改良工事を実施する
124	高規格幹線道路等関連周辺地域整備事業	山陰道の整備に伴う基盤整備事業を実施する
125	一般道路整備事業	市道5路線の道路改良工事を実施する

No.	事業名	事業の概要
126	地方創生道整備推進交付金事業	市道川合久利線及び市道志学市街線の舗装補修や突角改良工事を実施する
127	橋梁等長寿命化事業	橋梁長寿命化修繕計画に基づき、計画的に橋梁等の修繕、点検を実施する

3 暮らしの安全を守るまちづくりの推進

No.	事業名	事業の概要
128	消費者行政活性化事業	消費者問題が複雑化し、消費者被害が増加する中、消費者相談窓口の強化と市民への消費者教育・啓発事業を実施する
129	交通安全施設整備事業	カーブミラー、ガードレール等の新規設置や補修を行う
130	消防車両等の更新整備事業	大田消防署配備の水槽付消防ポンプ自動車を更新する
131	消防団装備充実強化事業	消防団員の安全管理の充実を図るため、消防団装備充実強化事業計画に基づき、装備品(トランシーバー)を整備する
132	消防施設整備等の整備強化事業	島根県西部地震により被災した防火水槽の解体撤去や公共下水道工事に伴う消火栓の移設工事を行う
133	消防団車両等の更新整備事業	老朽化した消防団輸送車2台と小型動力ポンプ1台を更新する
134	西部消防署庁舎新築整備事業	西部消防署を移転新築し、活動拠点施設として整備を図る
135	大田消防署三瓶出張所庁舎整備事業	島根県西部地震により被災した大田消防署三瓶出張所を建替え、活動拠点施設として整備を図る

4 災害に強いまちづくりの推進

No.	事業名	事業の概要
136	用悪水路整備事業	5排水路の用悪水路整備を実施する
137	建築物耐震改修促進事業	木造住宅の耐震改修を促進するため、耐震診断費、解体費、耐震改修設計費、耐震改修工事費に対して補助を行う
138	防災対策事業	防災体制を整備するとともに、自主防災組織の拡充やJ-ALERTなどの情報伝達機器の維持管理を行う
139	防災ハザードマップ改訂事業	洪水・津波浸水想定区域の見直しによる大田市防災ハザードマップの改訂を行う

V 自然・生活環境づくり 人と自然が共生した「自然・生活環境」をつくる

1 自然と共生した生活環境づくりの推進

No.	事業名	事業の概要
140	自然環境保全事業	三瓶山公園施設や中国自然歩道を管理するとともに、市内に生息する希少動植物について関係団体等と連携して保護、啓発を行う
141	生活環境保全推進事業	ボランティアによる回収済海岸漂着物の運搬や市内で発生した不法投棄の処理等、市内における環境整備を行う

2 循環型社会の構築

No.	事業名	事業の概要
142	新可燃ごみ処理施設整備に係る負担金	新可燃ごみ処理施設の整備事業主体となる邑智郡総合事務組合へ負担金を支出する
143	資源物分別収集事業	資源物の分別収集にかかる収集運搬や分別収集推進員の懇談会を開催する
144	ごみ減量化等推進事業	リサイクルの促進やごみの減量化を図るため、分別収集の推進活動や分別収集ステーション等の設置に対し、補助金を交付する
145	可燃物中継施設改修事業	新可燃ごみ処理システムに移行するため、大田可燃物中間処理施設の改修事業計画を策定する
146	出雲エネルギーセンター可燃ごみ処理負担金	出雲エネルギーセンターにおいて可燃性一般廃棄物を処理するための負担金を支出する
147	し尿処理施設改修事業	老朽化したし尿処理施設の長寿命化を図るため、基幹的設備改修に係る長寿命化総合計画を策定する

3 地球温暖化対策の推進

No.	事業名	事業の概要
148	新エネルギー導入促進事業	環境負荷の少ない新エネルギーの導入促進と普及啓発を図るため、太陽光発電設備や木質燃料活用機器などの設置に対し、補助金を交付する

4 飲料水の安定的な確保と供給

No.	事業名	事業の概要
149	水道事業会計繰出金	水道事業会計に対する一般会計補助金及び出資金を支出する

VI 持続可能なまちづくり 協働・共創により「持続可能なまち」をつくる

1 協働・共創のまちづくりの推進

No.	事業名	事業の概要
150	総合計画・総合戦略等推進事業	「第2次大田市総合計画」及び「大田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を推進するため、シンポジウムやワークショップを開催する
151	広報広聴事業	市政に関する情報の広報や市民から市政に対する意見や提案を聴く広聴事業を行う

2 小さな拠点づくりの推進

No.	事業名	事業の概要
152	持続可能なまちづくり推進事業	持続可能なまちの形成を目指し、「生活機能の確保」「生活交通の確保」「地域産業の振興」「定住対策の促進」などの地域の取り組みを支援する
153	まちづくりセンター耐震改修事業	富山まちづくりセンターを旧富山小学校に移転するため、改修工事、既存施設の解体工事等を行う
154	地域おこし協力隊員等受入れ事業	過疎化の著しい集落の支援、教育や地域の魅力化を図るため、集落支援員(2名)及び地域おこし協力隊員(4名)を配置する

3 移住・定住の推進

No.	事業名	事業の概要
155	○ 定住促進事業	市外在住者への大田の魅力情報発信やUターン者・若者を対象とした、移住定住を促進するための支援等を行う
156	○ どがなかな大田ふるさと寄附金促進事業	自主財源の確保、特産品のPR及び販売拡大を図るため、寄附者に対し「おおだブランド」等の特産品を返礼する
157	○ まちづくり推進基金新規積立金	今後のまちづくりに資するため、どがなかな大田ふるさと寄附金をまちづくり推進基金に積み立てる

4 効率的な行財政運営と改革の推進

No.	事業名	事業の概要
158	公共施設適正化推進事業	公共施設適正化計画に基づく公共施設の適正化を市民参画・対話・合意により実現するため、推進委員会の開催や中学校社会科授業の実施、ワークショップ開催などの広報啓発活動に取り組む
159	勤労青少年ホーム・中央集会所解体事業	老朽化の著しい勤労青少年ホーム・中央集会所を解体する
160	行財政改革推進事業	第3次大田市行財政改革推進大綱及び実施計画を推進するとともに、第4次大田市行財政改革推進大綱(仮称)及び実施計画を策定する
161	RPA導入検討事業	働き方改革を推進するとともに、行財政改革の一環として全国の自治体で導入が進んでいるRPAの本格導入に向け、その効果を検証する実証実験を行う
162	固定資産税評価替え対応事業	2021年度固定資産評価替に係る宅地標準値の鑑定を行う

8) 統計関係資料

人口

◆ 地区別人口の推移

(単位:人)

地区名	昭和35年	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
大田	8,553	8,885	8,725	9,249	9,802	10,032	9,958	9,722	9,519	9,303	8,853	8,327
川合	3,339	2,905	2,613	2,504	2,666	2,647	2,482	2,385	2,259	2,075	1,918	1,802
池田	1,826	1,564	1,396	1,349	1,327	1,354	1,296	1,199	1,112	1,015	934	829
志学	1,648	1,418	1,251	1,213	1,114	1,037	949	846	761	687	628	580
多根	765	618	534	473	458	425	354	314	293	274	242	214
山口	904	751	627	575	558	506	433	386	376	364	327	289
富山	1,767	1,405	1,221	1,096	1,026	980	905	849	774	705	626	514
朝山	1,173	972	843	795	797	780	731	704	660	625	590	480
波根	2,532	2,274	2,031	2,133	2,038	2,079	1,905	1,774	1,630	1,560	1,425	1,362
久手	5,753	5,038	4,561	4,915	5,282	5,311	5,154	5,062	4,768	4,598	4,295	4,054
鳥井	2,108	1,824	1,649	1,219	1,303	1,330	1,357	1,358	1,355	1,334	1,249	1,168
長久	2,355	2,209	2,093	2,241	2,367	2,718	2,777	2,746	2,674	2,785	2,813	2,785
静間	2,482	2,202	1,969	1,901	1,946	1,933	1,888	1,797	1,682	1,589	1,466	1,336
五十猛	2,974	2,705	2,205	2,080	2,006	2,016	1,932	1,815	1,682	1,570	1,395	1,298
大屋	1,091	945	794	688	655	635	574	497	491	446	386	324
久利	2,313	2,019	1,748	1,601	1,607	1,578	1,555	1,453	1,386	1,400	1,447	1,348
大森	1,236	982	830	753	655	583	547	522	472	449	405	391
水上	1,414	1,169	1,055	937	861	817	756	711	668	616	566	502
祖式	1,245	999	838	728	663	635	597	519	462	403	349	320
大代	1,733	1,438	1,209	999	895	846	772	674	585	539	450	362
旧大田市計	47,211	42,322	38,192	37,449	38,026	38,242	36,922	35,333	33,609	32,337	30,364	28,285
湯里	2,036	1,674	1,335	1,173	1,062	1,033	934	850	768	685	636	574
温泉津	3,450	2,986	2,434	2,176	2,044	1,905	1,811	1,639	1,493	1,415	1,254	1,095
井田	2,333	1,957	1,560	1,321	1,276	1,127	1,034	950	855	747	658	574
福波	2,201	1,903	1,598	1,490	1,321	1,218	1,084	1,007	937	833	744	662
旧温泉津町計	10,020	8,520	6,927	6,160	5,703	5,283	4,863	4,446	4,053	3,680	3,292	2,905
仁万	3,404	3,022	2,679	2,551	2,563	2,545	2,547	2,436	2,392	2,326	2,209	2,066
天河内						524	503	499	466	463	454	432
宅野	1,533	1,326	1,115	1,010	986	947	847	780	720	661	620	544
大國	1,858	1,559	1,261	1,171	1,217	752	714	632	580	530	444	392
馬路	1,995	1,815	1,301	1,092	1,075	984	895	827	753	706	613	542
旧仁摩町計	8,790	7,722	6,356	5,824	5,841	5,752	5,506	5,174	4,911	4,686	4,340	3,976
合計	66,021	58,564	51,475	49,433	49,570	49,277	47,291	44,953	42,573	40,703	37,996	35,166

※旧仁摩町昭和35～55年は、大国の中に天河内も含む

(資料:国勢調査)

◆ 地区別世帯数の推移

(単位:世帯)

地区名	昭和 35年	昭和 40年	昭和 45年	昭和 50年	昭和 55年	昭和 60年	平成 2年	平成 7年	平成 12年	平成 17年	平成 22年	平成 27年
大田	2,074	2,408	2,592	2,805	3,094	3,272	3,358	3,436	3,547	3,522	3,475	3,405
川合	753	737	696	685	716	715	701	688	700	689	651	596
池田	413	382	374	370	361	356	346	337	316	308	292	263
志学	380	357	348	356	340	324	306	290	273	266	262	236
多根	171	150	145	129	125	115	98	93	96	89	82	73
山口	183	166	152	146	140	136	130	124	125	127	118	109
富山	385	344	320	309	298	291	283	279	263	241	233	209
朝山	249	234	225	216	211	209	207	205	217	212	203	179
波根	602	586	563	614	601	595	570	551	541	521	483	468
久手	1,367	1,316	1,278	1,436	1,566	1,596	1,576	1,590	1,585	1,618	1,561	1,513
鳥井	500	485	491	380	391	396	414	424	440	445	435	416
長久	462	486	525	598	644	748	816	845	863	963	1,027	1,061
静間	603	583	567	552	563	545	539	523	524	517	498	478
五十猛	669	651	591	593	582	583	570	555	541	530	502	483
大屋	236	224	209	201	196	189	184	176	169	165	151	143
久利	521	485	457	447	446	434	429	441	452	466	491	482
大森	361	317	297	279	253	229	217	206	197	187	185	181
水上	337	287	280	266	254	248	236	234	229	214	203	193
祖式	274	253	244	225	215	212	194	182	177	164	153	132
大代	446	391	365	331	313	301	288	273	237	219	191	154
旧大田市計	10,986	10,842	10,719	10,938	11,309	11,494	11,462	11,452	11,492	11,463	11,196	10,774
湯里	523	476	422	391	379	362	348	332	307	293	267	248
温泉津	942	880	802	753	741	719	676	651	594	580	531	447
井田	559	517	473	435	425	404	381	350	319	299	273	248
福波	670	609	550	530	493	464	439	421	398	360	336	306
旧温泉津町計	2,694	2,482	2,247	2,109	2,038	1,949	1,844	1,754	1,618	1,532	1,407	1,249
仁万	826	789	769	765	776	785	811	819	840	834	820	765
天河内						176	182	183	179	174	171	170
宅野	374	334	319	303	299	307	293	280	270	252	238	216
大國	445	409	377	363	397	238	232	216	242	222	188	179
馬路	564	531	469	445	439	419	400	365	345	327	292	260
旧仁摩町計	2,209	2,063	1,934	1,876	1,911	1,925	1,918	1,863	1,876	1,809	1,709	1,590
合計	15,889	15,387	14,900	14,923	15,258	15,368	15,224	15,069	14,986	14,804	14,312	13,613

※旧仁摩町昭和35～55年は、大國の中に天河内も含む

(資料:国勢調査)

1. 産業づくり

◆ 大田市内総生産

(単位:百万円)

	平成 18年	平成 19年	平成 20年	平成 21年	平成 22年	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年
1. 産業	112,425	114,686	110,635	111,032	115,914	117,510	112,262	109,983	111,467	115,486
第1次産業	4,224	4,233	4,037	3,848	3,806	3,901	4,000	3,484	3,114	3,251
農業	1,989	1,871	1,926	1,904	1,973	2,002	2,072	1,747	1,295	1,304
林業	544	442	395	324	380	391	408	436	515	515
水産業	1,691	1,920	1,716	1,620	1,453	1,508	1,520	1,301	1,304	1,432
第2次産業	23,892	26,077	23,456	23,846	27,869	30,543	25,964	25,424	26,665	29,248
鉱業	148	174	171	150	171	199	177	235	263	294
製造業	14,614	15,257	13,008	13,345	16,884	21,019	14,363	15,114	15,401	18,747
建設業	9,130	10,646	10,277	10,351	10,814	9,325	11,424	10,075	11,001	10,207
第3次産業	84,309	84,376	83,142	83,338	84,239	83,066	82,298	81,075	81,688	82,987
電気・ガス・水道・廃棄物業	2,458	2,462	2,307	2,302	2,283	2,205	2,147	2,180	2,169	2,221
卸売・小売業	11,264	11,030	10,863	11,013	10,779	11,423	10,831	10,759	10,313	10,389
運輸・郵便業	4,548	4,561	4,349	3,816	3,848	3,671	3,746	3,406	3,921	3,835
宿泊・飲食業	3,095	3,038	2,953	2,869	2,949	2,622	2,471	2,655	2,669	2,891
情報通信業	2,640	2,771	3,070	3,308	3,447	3,497	3,519	3,585	3,581	3,580
金融・保険業	4,317	4,249	3,410	3,228	3,286	3,227	3,055	2,887	2,748	2,705
不動産業	20,724	20,628	20,661	20,726	20,622	20,267	20,405	20,544	20,785	20,769
専門・科学技術業務支援	2,826	4,032	6,120	6,627	6,714	6,512	6,000	5,662	5,258	5,287
公務	7,472	7,340	7,194	7,470	7,266	7,395	7,517	7,399	7,633	7,798
教育	7,008	6,926	6,815	6,692	6,823	6,498	6,469	6,079	6,147	6,138
保健衛生社会事業	11,380	10,900	9,516	9,670	10,189	10,307	10,712	10,679	11,000	11,819
その他のサービス業	6,577	6,439	5,884	5,617	6,033	5,442	5,426	5,240	5,464	5,555
2. 輸入品に課される税等	582	580	692	462	677	774	673	830	1,122	922
市内総生産 合計	113,007	115,266	111,327	111,494	116,591	118,284	112,935	110,813	112,589	116,408

※端数処理の関係で内訳と合計が一致しない場合がある。

(資料:島根県市町村民経済計算)

◆ 製造業における事業所数・従業員数・出荷額の推移(従業員4人以上の事業所) (各年12月31日現在)

年次	従業員規模別事業所数	従業員数(人)	出荷額(万円)
平成21年	91	2,464	3,484,469
平成22年	89	2,583	4,264,001
平成23年	84	2,494	4,423,289
平成24年	87	2,327	4,286,444
平成25年	80	2,354	4,355,755
平成26年	70	2,247	4,503,956
平成27年	69	2,088	6,311,919
平成28年	71	2,252	6,167,694

(資料:工業統計調査)

◆ 製造業(中分類別)事業所数・従業者数・出荷額の推移(従業員4人以上の事業所) (各年12月31日現在)

産業中分類	事業所数					従業者数(人)					製造品出荷額等(万円)				
	H24	H25	H26	H27	H28	H24	H25	H26	H27	H28	H24	H25	H26	H27	H28
食料品	24	21	19	21	20	368	386	389	359	379	558,938	610,962	633,278	656,135	767,006
飲料・たばこ・飼料	5	5	4	3	4	44	45	33	22	39	110,297	99,790	67,488	67,560	72,755
繊維	11	11	10	7	10	387	394	388	305	385	240,275	244,677	240,417	665,869	254,851
木材製品	6	6	5	6	6	45	42	34	38	38	50,619	40,931	33,387	25,399	34,080
家具	1	1	1	1	1	8	8	7	5	6	X	X	X	-	-
パルプ・紙	2	2	2	3	2	17	15	15	22	13	X	X	X	7,450	-
印刷	2	2	2	2	2	22	22	21	18	21	X	X	X	-	-
石油・石炭製品	1	-	-	-	-	4	-	-	-	-	X	-	-	-	-
プラスチック製品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ゴム製品	-	1	1	-	-	-	13	14	-	-	-	X	X	-	-
皮革製品	1	-	-	-	-	8	-	-	-	-	X	-	-	-	-
窯業・土石製品	17	16	12	11	12	351	332	287	275	282	638,068	667,168	562,184	537,269	491,115
鉄鋼	-	-	-	1	-	-	-	-	14	-	-	-	-	-	-
非鉄金属	1	1	1	1	1	306	306	312	307	291	X	X	X	-	-
金属製品	2	2	2	4	2	23	23	23	38	26	X	X	X	26,485	-
はん用機械	2	1	1	-	1	17	4	4	-	5	X	X	X	-	-
生産用機械	1	2	2	1	2	7	21	18	7	21	X	X	X	-	-
業務用機械	1	1	1	1	1	63	69	67	83	85	X	X	X	-	-
電子部品・デバイス	3	3	3	4	4	432	465	481	494	554	991,344	889,716	1,082,063	1,453,323	1,455,916
電気機械	4	3	3	2	2	156	149	94	46	43	311,564	283,107	300,977	-	-
輸送用機械	3	2	1	1	1	69	60	60	55	64	82,530	X	X	-	-
総数	87	80	70	69	71	2,327	2,354	2,247	2,088	2,252	4,286,444	4,355,755	4,503,956	6,311,919	6,167,694

※Xは事業所が特定される等の為、非公表

(資料:工業統計調査)

◆ 商店数・従業者数の推移

区分	商店総数				
	平成11年	平成14年	平成16年	平成19年	平成26年
島根県	13,993	12,940	12,087	10,782	8,212
県内8市	11,521	10,659	9,925	8,772	7,110
大田市	882	832	793	698	501
出雲市	2,774	2,593	2,419	2,167	1,944
浜田市	1,361	1,233	1,159	1,035	771

区分	従業者数(人)				
	平成11年	平成14年	平成16年	平成19年	平成26年
島根県	69,388	68,204	64,344	59,793	48,217
県内8市	59,958	59,486	55,167	51,185	43,920
大田市	3,655	3,914	3,506	3,301	2,542
出雲市	14,173	14,220	13,534	12,502	12,010
浜田市	6,810	7,257	6,073	5,741	4,308

区分	1店当りの従業者数(人)				
	平成11年	平成14年	平成16年	平成19年	平成26年
島根県	5.0	5.3	5.3	5.5	5.9
県内8市	5.2	5.6	5.6	5.8	6.2
大田市	4.1	4.7	4.4	4.7	5.1
出雲市	5.1	5.5	5.6	5.8	6.2
浜田市	5.0	5.9	5.2	5.5	5.6

(資料:商業統計調査結果報告書)

◆ 販売額の推移

区分	販売額(億円)				
	平成11年	平成14年	平成16年	平成19年	平成26年
島根県	18,691	17,055	16,430	14,214	13,817
県内8市	16,170	14,935	14,207	12,472	12,927
大田市	837	728	666	591	524
出雲市	3,482	3,190	3,104	2,790	3,152
浜田市	1,710	1,703	1,495	1,304	1,322

区分	1店当りの年間販売額(万円)				
	平成11年	平成14年	平成16年	平成19年	平成26年
島根県	13,369	13,180	13,593	13,183	16,825
県内8市	14,035	14,012	14,314	14,218	18,181
大田市	9,490	8,750	8,398	8,467	10,459
出雲市	12,552	12,302	12,832	12,875	16,214
浜田市	12,564	13,812	12,899	12,599	17,147

区分	従業員1人当りの年間販売額(万円)				
	平成11年	平成14年	平成16年	平成19年	平成26年
島根県	2,680	2,501	2,553	2,377	2,827
県内8市	2,697	2,511	2,575	2,437	2,908
大田市	2,290	1,860	1,900	1,790	2,061
出雲市	2,457	2,243	2,293	2,232	1,607
浜田市	2,511	2,347	2,462	2,271	3,069

(資料:商業統計調査結果報告書)

◆観光客入込推移

(平成31年1月16日現在 ※H30は暫定値)

観光地名	区分	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
三瓶山	入込客数(人)	587,800	673,542	614,100	617,400	642,100	600,900	538,700
	対前年比	95.9%	114.6%	91.2%	100.5%	104.0%	93.6%	89.7%
石見銀山全体	入込客数(人)	432,200	511,600	437,100	375,600	313,600	324,800	246,300
	対前年比	86.7%	118.4%	85.4%	85.9%	83.5%	103.6%	75.8%
大田市海岸 (海水浴)	入込客数(人)	6,730	9,300	5,700	8,320	8,310	8,230	8,270
	対前年比	33.2%	138.2%	61.3%	146.0%	99.9%	99.0%	100.5%
温泉津温泉	入込客数(人)	89,890	82,777	75,654	69,140	68,211	60,761	56,662
	対前年比	93.5%	92.1%	91.4%	91.4%	98.7%	89.1%	93.3%
温泉津やきもの館・ふれあい館・ゆうゆう館	入込客数(人)	51,235	53,542	45,579	45,363	41,655	35,289	19,934
	対前年比	103.3%	104.5%	85.1%	99.5%	91.8%	84.7%	56.5%
仁摩サンドミュージアム	入込客数(人)	60,490	58,711	50,285	48,701	45,265	42,490	37,035
	対前年比	94.5%	97.1%	85.7%	96.9%	92.9%	93.9%	87.2%
その他	入込客数(人)	205,790	166,867	233,891	216,829	268,294	247,098	189,944
	対前年比	132.7%	81.1%	140.2%	92.7%	123.7%	92.1%	76.9%
合計	入込客数(人)	1,434,135	1,556,339	1,462,309	1,381,353	1,387,435	1,319,568	1,096,845
	対前年比	95.8%	108.5%	94.0%	94.5%	100.4%	95.1%	83.1%

(資料: 島根県観光動態調査)

◆観光消費額

消費額単価(円)

(平成31年1月16日現在)

	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
県内客・宿泊	10,141	6,146	11,257	10,930	16,269
県外客・宿泊	22,304	16,200	20,954	23,336	21,796
県内客・日帰り	2,582	1,706	3,204	1,521	2,311
県外客・日帰り	4,512	2,883	4,023	2,157	3,644

観光消費額(百万円)

	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
県内客・宿泊	33	161	144	45	75
県外客・宿泊	2,894	1,853	2,799	3,186	2,915
県内客・日帰り	677	474	491	263	477
県外客・日帰り	1,912	1,078	1,868	1,625	844
合計	5,516	3,566	5,302	5,119	4,311

(資料: 大田市観光動態報告書)

◆観光施設外国人入込数

(平成31年1月16日現在 ※H30は暫定値、単位: 人)

	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
1月	43	77	32	71	75	126	292	191
2月	58	38	59	173	105	128	208	351
3月	118	120	98	152	217	229	342	430
4月	58	180	215	265	268	488	501	662
5月	124	164	113	276	352	431	532	392
6月	85	98	166	119	172	292	310	373
7月	116	187	159	278	350	358	473	421
8月	155	188	149	215	314	399	498	533
9月	138	165	143	262	239	521	424	444
10月	181	361	181	185	271	382	369	421
11月	162	181	227	142	225	326	620	433
12月	58	49	104	201	217	264	399	352
計	1,296	1,808	1,646	2,339	2,805	3,944	4,968	5,003

(資料: 島根県観光動態調査)

◆月別外国人宿泊客延べ人数

(平成31年1月16日現在 ※H30は暫定値、単位: 人)

	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
1月	2	7	5	3	12	14	23	10
2月	4	2	2	87	56	35	8	53
3月	2	43	0	22	58	46	18	43
4月	3	11	19	15	14	37	46	89
5月	107	74	33	9	65	30	90	49
6月	63	65	14	11	33	77	73	160
7月	55	2	11	50	64	55	136	48
8月	5	64	4	15	35	58	116	89
9月	13	35	2	37	23	65	13	29
10月	55	5	7	8	51	59	37	33
11月	3	3	8	19	83	88	171	580
12月	1	0	5	7	30	48	116	20
計	313	311	110	283	524	612	847	1,203

(資料: 島根県観光動態調査)

◆ 専業別農家数

(単位: 戸)

年次	総農家数	専業別		
		専業	1種兼業	2種兼業
平成2年	4,426	(18.9%) 837	(7.2%) 317	(73.9%) 3,272
平成7年	3,955	(20.8%) 824	(10.4%) 409	(68.8%) 2,722
平成12年	2,284	(19.3%) 440	(8.3%) 190	(72.4%) 1,654
平成17年	1,753	(23.6%) 414	(7.8%) 137	(68.6%) 1,202
平成22年	1,436	(29.8%) 428	(7.7%) 110	(62.5%) 898
平成27年	1,101	(29.2%) 321	(9.3%) 102	(61.6%) 678

(資料: 農業センサス)

◆ 農業就業人口

(単位: 人)

年次	計	男女別		計	年齢階層別		
		男	女		16~29歳	30~59歳	60歳以上
		平成2年	5,755		(37.7%) 2,171	(62.3%) 3,584	5,755
平成7年	5,168	(40.2%) 2,076	(59.8%) 3,092	5,168	(3.2%) 164	(18.6%) 959	(78.3%) 4,045
平成12年	3,287	(42.7%) 1,404	(57.3%) 1,883	3,287	(4.3%) 142	(15.9%) 524	(79.7%) 2,621
平成17年	2,561	(45.7%) 1,171	(54.3%) 1,390	2,561	(4.6%) 117	(13.3%) 341	(82.1%) 2,103
平成22年	2,099	(48.3%) 1,014	(51.7%) 1,085	2,099	(3.6%) 75	(12.0%) 252	(84.4%) 1,772
平成27年	1,390	(53.7%) 746	(46.3%) 644	1,390	(1.1%) 15	(9.9%) 138	(89.0%) 1,237

(資料: 農業センサス)

◆ 経営耕地規模別農家数

(単位: 戸)

年次	総農家数	経営耕地規模別農家数					
		0.5ha未満	0.5~1.0	1.0~1.5	1.5~2.0	2.0~3.0	3.0ha以上
平成2年	4,426	(53.3%) 2,358	(32.9%) 1,454	(8.9%) 393	(2.5%) 110	(1.4%) 63	(1.1%) 48
平成7年	3,955	(54.0%) 2,134	(32.1%) 1,271	(7.9%) 313	(3.0%) 118	(1.6%) 64	(1.4%) 55
平成12年	2,284	(36.7%) 838	(43.7%) 999	(11.5%) 263	(3.1%) 71	(2.4%) 54	(2.6%) 59
平成17年	1,753	(34.6%) 606	(44.4%) 778	(11.7%) 205	(3.7%) 64	(2.8%) 49	(2.9%) 51
平成22年	1,436	(33.3%) 478	(42.8%) 614	(13.0%) 186	(3.8%) 55	(3.4%) 49	(3.8%) 54
平成27年	1,101	(31.7%) 349	(41.0%) 451	(13.9%) 153	(4.6%) 51	(4.1%) 45	(4.7%) 52

(資料: 農業センサス)

◆ 家畜・家きん飼養状況

(各年2月1日現在)

年次	乳用牛		肉用牛		採卵鶏	
	農家数 (戸)	頭数 (頭)	農家数 (戸)	頭数 (頭)	農家数 (戸)	羽数 (千羽)
平成20年	21	3,401	149	2,549	2	227
平成21年	20	3,504	137	2,301	2	231
平成22年	17	3,579	130	2,215	2	230
平成23年	17	3,555	122	2,353	2	245
平成24年	17	3,562	120	2,353	1	250
平成25年	17	3,557	109	2,243	1	250
平成26年	16	3,596	101	2,244	1	250
平成27年	15	3,473	100	2,161	1	250
平成28年	15	3,634	89	2,175	1	274
平成29年	14	3,823	84	2,137	1	300
平成30年	12	3,888	87	2,271	1	300

(資料: 農林水産課)

◆ 原木生産量の推移

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
原木生産量の推移(m3)	9,000	7,000	10,000	14,000

(資料: 森づくり推進室)

◆ 水産漁獲高・漁獲量の推移

年次	漁獲高	漁獲量	
	(千円)	(t)	対前年比
平成20年	3,024,858	7,909	98.0%
平成21年	2,828,760	8,037	101.6%
平成22年	2,525,095	7,059	87.8%
平成23年	2,729,119	7,588	107.5%
平成24年	2,619,446	6,950	91.6%
平成25年	2,414,682	6,280	90.4%
平成26年	2,359,422	5,658	90.1%
平成27年	2,454,049	5,571	98.5%
平成28年	2,376,402	5,685	102.0%
平成29年	2,250,643	4,959	87.2%

(資料: 農林水産課)

2. 豊かな心づくり

◆児童・生徒数の推移

(5月初日在籍人員、単位：人)

区分	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
小学校児童数	1,841	1,867	1,833	1,787	1,794	1,770	1,733	1,662	1,641	1,618	1,602
中学校生徒数	1,074	982	971	937	922	918	895	942	911	893	840
計	2,915	2,849	2,804	2,724	2,716	2,688	2,628	2,604	2,552	2,511	2,442

(資料：大田市教育委員会)

◆学校ごとの児童・生徒数

小学校 平成30年5月1日現在(単位：人)

学年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
大田小	65	81	70	92	80	101	489
長久小	36	27	30	22	35	21	171
五十猛小	14	10	10	6	7	8	55
静間小	10	14	12	9	8	12	65
鳥井小	4	9	10	7	5	8	43
久手小	31	39	30	40	33	29	202
朝波小	15	12	16	14	16	23	96
北三瓶小	0	1	3	2	3	4	13
志学小	2	5	1	2	4	5	19
池田小	7	4	5	4	4	3	27
川合小	7	14	11	10	14	15	71
久屋小	8	6	12	7	7	11	51
大森小	3	1	1	2	1	3	11
高山小	6	6	6	7	7	7	39
温泉津小	18	19	11	12	12	10	82
仁摩小	33	21	30	22	32	30	168
計	259	269	258	258	268	290	1,602

中学校

学年	1年生	2年生	3年生	計
一中	135	150	148	433
二中	77	75	82	234
北三瓶中	2	4	6	12
志学中	5	1	3	9
三中	6	6	11	23
大田西中	40	47	42	129
計	265	283	292	840

高等学校

学年	1年生	2年生	3年生	計
大田高	160	128	138	426
邇摩高	91	95	114	300
計	251	223	252	726

(資料：大田市教育委員会)

◆大田市の指定文化財一覧

平成29年10月13日現在 124件(国指定12件、県指定40件、市指定72件)

番号	種別	国・県・市指定例	指定年月日	名称	所在地	備考
1	工	重文	明42.4.20	太刀 銘了戒	川合町	作者了戒は鎌倉末期の名工
2	工	重文	昭43.4.25	辻が花染丁子文道服	大森町	徳川家康から慶長8年(1603)に拝領したもの
3	無民	重無民	平17.2.21	五十猛のグロ	五十猛町	
4	建	重文	平10.5.1	熊谷家住宅	大森町	寛政の大火(1800年)以後の再建 大森町でもっとも大きい町家
5	史	国	昭44.4.14	石見銀山遺跡	大森町 祖式町 温泉津町 仁摩町	間歩、墓地、城跡等
	史	国	平14.3.19	石見銀山遺跡		銀山柵内(追加)、石見城跡、矢滝城跡、矢管城跡、沖泊、鞆ヶ浦
	史	国	平17.3.2	石見銀山遺跡		宮ノ前、石見銀山街道(温泉津・沖泊道・鞆ヶ浦道)
	史	国	平17.7.14	石見銀山遺跡		銀山柵内(追加)、羅漢寺五百羅漢、沖泊、鞆ヶ浦(追加)
6	天	国	昭11.9.3	波根西の珪化木	久手町	ブナの木と推定
	天	国	昭34.7.24	松代鉱山の霰石産地	久利町	結晶体が三連双晶となっているのが珍しい
8	天	国	昭44.11.29	三瓶山自然林	三瓶町 山口町	面積123.23ha
9	天	国	平16.2.27	三瓶小豆原埋没林	三瓶町	縄文時代後期の三瓶山の噴火により埋没した スギを主体とした巨木林
10	天	国	平29.10.13	琴ヶ浜	仁摩町	主に円磨された石英砂で構成される日本有数の鳴き砂浜。延長1.38 ^{キロ} の円弧状の砂浜で、湾口長2.25 ^{キロ} 、奥行長1.20 ^{キロ} 。
11	重伝建	国	昭62.12.5	大田市大森銀山重要伝統的建造物群保存地区	大森町	面積約32.8ha
	重伝建	国	平19.12.4	大田市大森銀山重要伝統的建造物群保存地区	大森町	
12	重伝建	国	平16.7.6	大田市温泉津重要伝統的建造物群保存地区	温泉津町	面積約33.7ha
13	建	県	昭39.5.26	鉄塔 付経堂	大田町	永正17年(1520)在銘
14	建	県	昭45.10.27	物部神社本殿	川合町	祭神は物部氏の祖神宇摩志麻遲命、古代より石見国の一宮として崇敬される
15	建	県	昭52.5.4	城上神社拜殿	大森町	文化9年(1812)建
16	建	県	平14.5.14	沖泊恵比須神社	温泉津町	
17	絵	県	昭36.6.13	絵馬	大森町	狩野重信筆、天正20年(1592)在銘
18	絵	県	昭43.6.7	絹本着色仏涅槃図	大森町	室町時代
19	絵	県	昭52.5.4	絹本着色不動明王像	大森町	鎌倉末期～南北朝頃作
20	絵	県	昭55.6.27	絹本着色不動明王像	大森町	南北朝時代
21	絵	県	平19.5.7	絹本着色多胡辰敬像	久手町	天文22年(1553)京都南禅寺住職惟高妙玄の讃文あり
22	彫	県	昭41.5.31	石造五百羅漢坐像群 付石窟3所ほか	大森町	寛保～明和頃作
23	彫	県	平6.12.13	木造阿彌陀如来立像	大森町	鎌倉時代
24	工	県	昭34.9.1	太刀 銘雲生	川合町	作者雲生は鎌倉末期、山城風(京風)の初代刀匠 別称「自在丸」
25	工	県	昭35.9.30	備前焼花瓶	大森町	元和2年(1616)在銘
26	工	県	昭42.5.24	刀 銘清則	大森町	文安2年(1445)在銘

27	工	県	昭 42. 5.24	銅鐘	鳥井町	観応元年(1350)筑前国で鑄造 心光院
28	工	県	昭 44. 5.12	鰐口	大森町	永禄 6 年(1563)在銘
29	工	県	昭 44. 5.12	雲版	三瓶町	応永 14 年(1407)在銘
30	工	県	昭 51. 4.30	太刀 銘高包	大田町	平安時代 古備前刀
31	工	県	昭 42. 5.30	高野寺の黄銅梵鐘	温泉津町	
32	書	県	昭 35. 9.30	紙本墨書経巻	大森町	平安時代初期、弘仁期か
33	古	県	昭 48. 9.25	紙本墨画石見銀山絵巻	大森町	江戸中期以後の作
34	古	県	昭 50. 8.12	紙本墨書石見銀山御料郷宿田儀屋文書	仁摩町	
35	考	県	昭 40. 5.21	銅製経筒	大田町	永正 10 年(1513)~元亀 2 年(1571)在銘ほか 銅製経筒 付経筒蓋 銅製被定 銅製納札 経文経石 泥塔/銭貨
36	無民	県	昭 62. 4. 3	シカ踊	水上町	水上神社 10 月 22 日例祭
37	無民	県	平 4. 4.28	大田両八幡宮祭礼風流	大田町	喜多八幡宮、南八幡宮 10 月 15 日 例祭
38	史	県	昭 49.12.27	石見銀山御料郷宿田儀屋遺宅青山家	大森町	文化年間建
39	史	県	昭 49.12.27	石見銀山代官所地役人遺宅三宅家	大森町	江戸末期建
40	史	県	昭 49.12.27	石見銀山代官所地役人遺宅岡家	大森町	江戸中期建
41	史	県	昭 49.12.27	石見銀山代官所同心遺宅柳原家	大森町	
42	史	県	昭 49.12.27	石見銀山御料郷宿泉屋遺宅金森家	大森町	寛政以前の建
43	史	県	昭 50. 8.12	石見銀山遺跡 2 代奉行竹村丹後守墓所ほか	大森町	奉行代官墓所 11 所、宝篋印塔 2 基
44	史	県	昭 50. 8.12	石見銀山代官所地役人遺宅阿部家	大森町	江戸時代中期
45	史	県	昭 61. 9.19	明神古墳	仁摩町	
46	史	県	平 29.1.24	梨ノ木坂遺跡	温泉津町	
47	天	県	昭 43. 6. 7	姫逃池のキツバタ群落	三瓶町	浮島を中心に自生
48	天	県	昭 43. 6. 7	本宮神社の大杉	三瓶町	樹齢約 800 年、根回り約 13 m、樹高約 43 m(昭和 44 年当時)
49	天	県	昭 35.9.30	日本海岸におけるハマナス自生西限地	静間町	一部解除
50	天	県	昭 45.10.27	仁万の硅化木	仁摩町	田尻海岸
51	天	県	昭 52. 5. 4	沖蛇島のウミネコ繁殖地	温泉津町	
52	天	県	平 19.5.7	鬼村の鬼岩	大屋町	1 所
53	建	市	昭 47. 3. 8	清水寺山門付扁額 1 面ほか	大森町	もと神宮寺の山門を移築
54	建	市	昭 48. 6.22	勝源寺四脚門	大森町	明和 9 年(1772)建立
55	建	市	平 3.12.18	勝源寺本堂	大森町	
56	建	市	平 16. 4.27	西本寺山門	大森町	江戸時代初期
57	建	市	平 16. 4.27	勝源寺東照宮付棟札 2 枚	大森町	元禄 16 年(1703)建立(棟札)
58	建	市	平 4. 5.11	願林寺鐘楼門	温泉津町	
59	建	市	平 25.12.20	水上神社本殿付棟札 5 枚、造堂文書 1 冊	温泉津町	宝暦 11 年(1761)建立
60	絵	市	昭 46. 3.20	絹本着色愛染明王像	大森町	室町時代中期
61	絵	市	昭 46. 3.20	絹本着色愛染明王像	三瓶町	室町時代末期
62	絵	市	昭 46. 3.20	絹本着色三宝荒神像	大森町	室町時代中期
63	絵	市	昭 47. 3. 8	天井絵	大森町	文化 15 年(1818)円隣斎守休筆
64	絵	市	昭 52. 5.18	紙本着色十二天像	祖式町	室町時代末期

65	絵	市	昭 52. 5.18	絹本着色雨宝童子像	祖式町	室町時代末期
66	絵	市	昭 52. 5.18	絹本着色家康並びに十六将像	大森町	文政 6 年(1823)阿部半蔵光格筆
67	絵	市	昭 53. 5.17	絹本着色安原備中像	大森町	安政 6 年(1859)辛島西朗筆
68	絵	市	昭 57. 2.17	絹本着色阿弥陀如来立像	大田町	鎌倉時代
69	絵	市	昭 57. 2.17	絹本着色三宝荒神像	大代町	室町時代
70	絵	市	平 5. 3.17	絹本着色弘法大師像	大森町	
71	絵	市	平 5. 3.17	絹本着色高野四所明神像	大森町	
72	絵	市	平 5. 3.17	絹本着色釈迦十六善神像	大森町	
73	絵	市	平 16. 4.27	園部誠齋筆絹本淡彩雪景山水画	久利町	安政 2 年(1855)作
74	彫	市	昭 46. 3.20	木造熊野権現像	大田町	室町時代末期
75	彫	市	昭 47. 3. 8	木造太元帥明王立像	大森町	室町時代
76	彫	市	昭 47. 3. 8	木造降三世明王立像	大森町	室町時代
77	彫	市	昭 48. 6.22	能面付能面箱	大森町	桃山時代 伝大久保長安奉納
78	彫	市	昭 48. 6.22	木造千手観音立像	三瓶町	永禄 5 年(1562)京都七条大仏師作
79	彫	市	昭 57. 2.17	木造著色地藏菩薩立像(内仏)付 木造著色地藏菩薩立像(外仏)	波根町	(内仏)室町時代、(外仏)江戸時代中期
80	彫	市	昭 57. 2.17	木造著色神像	大田町	室町時代
81	彫	市	平 4. 5.11	釈迦牟尼如来座像	温泉津町	木食五行作
82	彫	市	平 17. 9. 7	松林寺役行者三尊	温泉津町	
83	彫	市	平 29. 4.20	木造観音菩薩立像	祖式町	圓福寺 奈良時代
84	工	市	昭 46. 3.20	刀 銘平長吉	川合町	応永年間
85	工	市	昭 47. 3. 8	扇	大森町	桃山時代 徳川家康から拝領
86	工	市	昭 48. 6.22	熨斗目	大森町	明和 3 年(1766)徳川家治から拝領、時服
87	工	市	昭 48. 6.22	刀 銘政俊	川合町	永正年間
88	書	市	昭 47. 3. 8	紙本墨書 観聴随筆	大田町	万治元年(1658)~弘化 3 年(1846)天領下記録
89	書	市	平 16. 4.27	屋代忠良筆絹本墨書正気歌	久利町	安政 2 年(1855)作
90	書	市	昭 55. 4. 1	元禄版「歎異抄」	仁摩町	
91	古	市	昭 48. 6.22	石清水八幡宮棟札	大代町	天文 3 年(1534)~昭和
92	古	市	昭 57. 2.17	紙本墨書長野家文書	久手町	江戸時代
93	古	市	昭 57. 2.17	多根佐比売山神社棟札	三瓶町	室町時代
94	古	市	平 5. 3.17	山中家文書	大森町	
95	古	市	平 5. 3.17	野城神社棟札	大田町	
96	古	市	昭 55. 4. 1	満行寺文書(慶長以前)	仁摩町	
97	古	市	昭 55. 4. 1	大国内和田村名寄帳	仁摩町	
98	考	市	昭 46. 3.20	天王平麿寺跡塔柱心礎石	波根町	奈良時代初期
99	無民	市	昭 46. 3.20	小笠原流大代田植囃子	大代町	石清水八幡宮 7 月 17 日例祭など
100	無民	市	昭 56. 2.18	多根神楽	三瓶町	佐比売山神社 4 月 25 日例祭など
101	無民	市	平 6.12.22	水上花田植	水上町	
102	無民	市	昭 39.12.10	宅野子ども神楽	仁摩町	
103	無民	市	昭 39.12.10	琴ヶ浜盆踊り	仁摩町	
104	無民	市	平 29. 4.20	小浜・巖島神社の御日待祭	温泉津町	1 月 14 日・15 日
105	有民	市	昭 55. 4. 1	乙見神社の龍蛇	仁摩町	
106	有民	市	平 17. 9. 7	西田ヨス'クハテ'	温泉津町	

107	史	市	昭 47. 3. 8	千人壺	大森町	
108	史	市	平 5. 3. 17	大森代官所地役人遺宅宗岡家	大森町	
109	史	市	平 5. 3. 17	大森代官所地役人遺宅旧河島家	大森町	
110	史	市	昭 55. 4. 1	坂灘古墳	仁摩町	
111	史名	市	昭 48. 6. 22	円城寺境内	三瓶町	
112	史名	市	昭 55. 4. 1	井戸平左衛門顕彰碑	仁摩町	
113	名	市	平 5. 3. 17	掛戸松島	久手町	
114	名	市	平 4. 5. 11	願楽寺「紫白庭」	温泉津町	
115	天	市	昭 46. 3. 20	定めめの松	三瓶町	江戸初期植樹、(現存は1株)
116	天	市	昭 48. 6. 22	石清水八幡宮の大杉群	大代町	天文 3 年(1534)創建記念樹
117	天	市	平 4. 12. 16	静之窟	静間町	
118	天	市	平 5. 3. 17	大賀二千年ハス	大田町	
119	天	市	平 5. 3. 17	高原の椎木	富山町	
120	天	市	昭 39. 12. 10	龍巖山のうげんかずら	仁摩町	
121	天	市	平 4. 5. 11	大元神社のカツラ	温泉津町	
122	天	市	平 4. 5. 11	高野寺のアカガシ林	温泉津町	
123	天	市	平 4. 5. 11	沖泊のハマビワ群落	温泉津町	
124	天	市	平 4. 5. 11	井戸家のキャラホク	温泉津町	

[種別] 有形文化財 …… (建) 建造物 (絵) 絵画 (彫) 彫刻 (工) 工芸品 (書) 書籍
(古) 古文書 (考) 考古資料
民俗文化財 …… (無民) 無形民俗文化財 (有民) 有形民俗文化財
記念物 …… (史) 史跡 (名) 名勝 (天) 天然記念物 (史名) 史跡及び名勝
その他 …… (重伝建) 重要伝統的建造物群保存地区

[国・県・市町村指定種別] 重文…重要文化財(国指定の有形文化財)
重無民…重要無形民俗文化財(国指定の無形民俗文化財)
国…国指定の記念物、その他
県…県指定の文化財
市…市指定の文化財

記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財

番号	選択年月日	名称	所在地	備考
1	平 21.3.11	西田のヨス'クハテ'製作技術	温泉津町	

(資料: 大田市教育委員会)

3.暮らしづくり

◆ 保育所等園児数の推移

(4月初日在籍人員、単位:人)

区分	名称	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
公立	大田 保育園	96	77	76	76	87	81	87	
	静間 保育園	44	42	38	37	40	41	34	
	鳥井 保育園	46	39	47	44	41	32	31	
	久手 保育園	88	86	93	91	89	84	90	
	波根 保育園	66	62	53	57	52	46	46	
	池田 保育園	17	16	18	22	19	18	15	
	川合 保育園	46	42	32	32	28	27	26	
	水上 保育園	22	25	24	22	20	20	17	
	温泉津保育所	48	52	50	50	50	43	38	
	湯里分園	11	11	9	10	8	7	-	
	仁摩保育所	112	113	118	116	109	-	-	
	計	596	565	558	557	543	399	384	
	私立	あゆみ保育園	140	142	148	141	130	135	135
		志学保育園	15	14	12	16	14	17	13
みどり保育園		16	13	13	19	17	19	17	
いそたけ保育園		36	41	47	46	50	49	46	
サンチャイルド		103	117	118	128	122	119	127	
長久さわらび園		45	43	43	40	43	47	56	
相愛保育園		138	123	129	119	125	126	128	
たから保育園		-	22	40	44	52	54	58	
仁摩保育園		-	-	-	-	-	100	98	
こぼと保育園		-	-	-	-	-	-	38	
計		493	515	550	553	553	666	716	
地域型保育事業所	ステップルーム	-	-	-	5	5	5	5	
	ナーサリーおだ	-	-	-	5	3	5	3	
	大森さくら保育園	-	-	-	5	11	13	19	
	わんぱく保育園	-	-	-	5	5	6	7	
	ステップ 2	-	-	-	-	-	5	5	
	ステップ川合	-	-	-	-	-	-	3	
	計	-	-	-	20	24	34	42	
認可外	北三瓶保育園	5	-	-	-	-	-	-	
	たんぽぽ保育所	23	28	22	21	21	19	22	
	小田保育園	5	5	5	-	-	-	-	
	こぼと保育園	44	44	33	30	32	27	-	
	大森幼稚園	6	6	2	-	-	-	-	
	大代幼稚園	5	5	5	-	-	-	-	
	わんぱく保育園	-	3	7	-	-	-	-	
	ステップルーム	5	5	5	-	-	-	-	
計	93	96	79	51	53	46	22		
合計	1,182	1,176	1,187	1,181	1,173	1,145	1,164		

(資料: 子育て支援課)

◆ 医療機関の状況

(各年12月31日現在)

年次	病院		施設数				
	施設数	病床数	一般診療所		歯科診療所	助産所	薬局
			有床	無床			
平成 22 年	2	549	8	47	14	0	14
平成 23 年	2	549	8	44	14	0	15
平成 24 年	2	549	8	39	15	0	16
平成 25 年	2	549	8	38	16	0	16
平成 26 年	2	549	7	37	17	0	15
平成 27 年	2	549	7	37	16	0	15
平成 28 年	2	549	7	37	16	1	15
平成 29 年	2	549	7	37	16	1	15
平成 30 年	2	549	5	39	16	1	16

(資料: 県央保健所)

◆ 保健医療関係者数

(平成28年12月31日現在、単位: 人)

区分	医師		歯科医師		薬剤師		保健師	
	総数	人口 10 万人当り	総数	人口 10 万人当り	総数	人口 10 万人当り	総数	人口 10 万人当り
大田市	68	196.4	20	57.8	59	170.4	27	78.0
島根県	1,975	286.2	419	60.7	1,316	190.7	503	72.9
全国	319,480	251.7	104,533	82.4	301,323	237.4	51,280	40.4

区分	助産師		看護師		准看護師		歯科衛生士	
	総数	人口 10 万人当り	総数	人口 10 万人当り	総数	人口 10 万人当り	総数	人口 10 万人当り
大田市	16	46.2	316	912.6	202	583.3	30	86.6
島根県	323	46.8	8,332	1,207.5	3,078	446.1	845	122.5
全国	35,774	28.2	1,149,397	905.5	323,111	254.6	123,831	97.6

区分	歯科技工士	
	総数	人口 10 万人当り
大田市	13	37.5
島根県	264	38.3
全国	34,640	27.3

※人口は、平成28年10月1日推計人口(大田市は34,628人で計算)

(資料: 「平成28年衛生行政報告例」厚生労働省、県央保健所)

◆ 医師・歯科医師数

(平成28年12月31日現在、単位: 人)

区分	一般						歯科	
	39 歳以下	40~54	55~64	65~74	75 歳以上	計	内 65 歳以上	65 歳以上
大田圏域	8	31	32	19	11	101	30	13
島根県	495	674	433	259	114	1,975	373	102

(資料: 「平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査」厚生労働省)

◆ 人口構造

(単位: 人)

区分	平成 2 年	平成 7 年	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年
総人口	47,291	44,953	42,573	40,703	37,996	35,166
40 歳以上	27,362 (57.9%)	27,589 (61.4%)	27,521 (64.6%)	26,959 (66.2%)	25,775 (67.8%)	24,351 (69.2%)
65 歳以上	10,824 (22.9%)	12,220 (27.2%)	13,238 (31.1%)	13,357 (32.8%)	13,162 (34.6%)	13,345 (37.9%)
70 歳以上	7,378 (15.6%)	8,482 (18.9%)	9,747 (22.9%)	10,669 (26.2%)	10,554 (27.8%)	10,012 (28.5%)
75 歳以上	4,659 (9.9%)	5,311 (11.8%)	6,265 (14.7%)	7,418 (18.2%)	8,032 (21.1%)	7,521 (21.4%)
(再掲) 40~64 歳	16,538 (35.0%)	15,369 (34.2%)	14,283 (33.5%)	13,602 (33.4%)	12,613 (33.2%)	11,006 (31.3%)

(資料: 国勢調査)

◆ 要介護認定者数等の状況

(各年度 3 月 31 日現在、単位: 人)

区分	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
第 1 号被保険者数(A)	13,095	13,277	13,449	13,636	13,765	13,720	13,682
要支援 1	600	657	692	654	570	486	284
要支援 2	356	350	379	403	452	475	383
要介護 1	533	586	628	676	679	704	746
要介護 2	479	470	465	417	427	436	468
要介護 3	353	351	316	356	373	339	350
要介護 4	296	286	282	300	314	361	358
要介護 5	398	371	354	364	344	310	317
合計(B)	3,015	3,071	3,116	3,170	3,159	3,111	2,906
認定率(B/A)	23.0%	23.1%	23.2%	23.2%	22.9%	22.7%	21.2%

(資料: 介護保険課)

◆ 介護保険対象施設等の整備状況

(各年度3月31日現在、単位:床、箇所)

区分		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
介護保険対象施設	介護老人福祉施設	350	350	350	330	330	330	330
	施設数	6	6	6	6	6	6	6
	介護老人保健施設	110	110	110	110	110	110	110
	施設数	2	2	2	2	2	3	3
	介護療養型医療施設	69	69	69	69	69	69	42
	施設数	2	2	2	2	2	2	1
	グループホーム	105	105	105	105	105	105	105
	施設数	8	8	8	8	8	8	8
	地域密着型介護老人福祉施設	-	-	-	-	20	20	20
	施設数	-	-	-	-	1	1	1
合計	634	634	634	614	634	634	607	
施設数	18	18	18	18	19	20	19	
その他施設	養護老人ホーム	50	50	50	50	50	50	50
	施設数	1	1	1	1	1	1	1
	軽費老人ホーム	50	50	50	50	50	50	50
	施設数	1	1	1	1	1	1	1
	高齢者生活支援ハウス	34	34	34	34	34	34	34
	施設数	2	2	2	2	2	2	2
	合計	134	134	134	134	134	134	134
施設数	4	4	4	4	4	4	4	

(資料:介護保険課)

◆ 障がい者数の推移

(各年度3月31日現在、単位:人)

	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	人数	内65歳以上												
身体障がい者	2,430	1,875	2,369	1,848	2,323	1,817	2,264	1,794	2,207	1,771	2,025	1,619	1,907	1,531
知的障がい者	406	58	414	60	418	59	423	61	430	64	433	72	434	71
精神障がい者	269	41	302	68	302	65	381	107	412	131	417	128	421	131
計	3,105	1,974	3,085	1,976	3,043	1,941	3,068	1,962	3,049	1,966	2,875	1,819	2,762	1,733

(資料:地域福祉課)

4. 都市基盤づくり

◆ 都市計画道路の整備状況

(平成31年3月現在)

名称	幅員(m)	車線の数	計画延長(m)	完成延長(換算)(m)	概成済延長(m)	整備率
柳ヶ坪・綿田線	12~16	2車線	3,340	808		24.2%
大田停車場線	16~25	2車線	710	76		10.7%
天神・中島線	12~16	2車線	2,780	2,070	350	74.5%
川北・吉永線	12~16	2車線	2,660	1,810	850	68.0%
大田・久手線	12	2車線	160	0	160	0.0%
和江・大田線	9	2車線	520	520		100.0%
大正西線	16	2車線	460	152		33.0%
山崎・城山線	12	2車線	1,000	560	440	56.0%
宮崎・日ノ出線	12.5	2車線	1,660	980		59.0%
鳴滝・栄町線	12	2車線	470	470		100.0%
栄町・高禅寺線	12~16	2車線	3,150	1,979		62.8%
久手・長久線	25	4車線	3,580	3,580		100.0%
殿町・城平線	12	2車線	250	0		0.0%
大田市駅前線	8	-	170	170		100.0%
出雲仁摩線	21	4車線	18,560	10,750		57.9%
朝山インター線	10	2車線	760	760		100.0%
出雲仁摩線	21	4車線	2,890	809		28.0%
仁摩温泉津線	21	4車線	11,550	11,550		100.0%
仁摩インター線	13	2車線	920	920		100.0%
国道9号線	15	2車線	910	910		100.0%
仁万漁港線	12	2車線	550	550		100.0%
仁万線	9	2車線	860	860		100.0%
仁摩大森線	9	2車線	250	60	190	24.0%
鈴ヶ原港線	6	2車線	850	850		100.0%
福光・浅利線	21	4車線	1,280	0		0.0%
計			60,290	41,194	1,990	68.3%

(資料:都市計画課)

◆ 都市公園の状況

(平成31年3月現在)

種別	施設名称	地区名	都市計画決定年月日	供用開始年月日	開設面積(ha)
総合公園	大田市民公園	大田	昭和49.4.9	昭和50.5.20	8.50
	榎島公園	温泉津	昭和51.10.1	昭和55.3.31	2.74
歴史公園	石見銀山公園	大田	昭和50.7.11	昭和61.10.1	36.92
街区公園	温泉津児童公園	温泉津	昭和42.12.9	昭和44.4.3	0.30
	山崎公園	大田	昭和59.6.14	昭和61.10.1	0.49
	長久公園	大田	昭和59.6.14	昭和61.10.1	0.24
	鳴滝公園	大田	昭和59.6.14	平成4.12.18	0.53
	宮崎公園	大田	昭和59.6.14	平成13.4.25	0.44
	駅前公園	大田	平成12.3.31	平成17.4.1	0.12
地区公園	駅前公園	大田	平成17.10.17	平成20.5.1	0.15
	仁摩健康公園	仁摩	昭和62.3.20	平成3.3.16	7.80

(資料:都市計画課)

◆ 汚水処理人口普及率

(平成30年3月31日現在)

	総人口	汚水処理人口	公共下水道	農業集落排水事業等	浄化槽	市町村整備推進事業等分			左記以外分	コミュニティ・プラント
						浄化槽設置整備事業分				
大田市	普及人口(人)	35,317	14,755	7,668	526	6,561	1,600	2,949	2,012	0
	普及率	-	41.8%	21.7%	1.5%	18.6%	4.5%	8.4%	5.7%	0.0%
島根県	普及人口(千人)	688	546	332	102	107	26	47	34	5
	普及率	-	79.3%	48.3%	14.8%	15.5%	3.8%	6.8%	4.7%	0.7%
全国	普及人口(万人)	12,732	11,571	10,031	344	1,175	84	607	484	21
	普及率	-	90.9%	78.8%	2.7%	9.2%	0.7%	4.8%	3.8%	0.2%

(資料:下水道課)

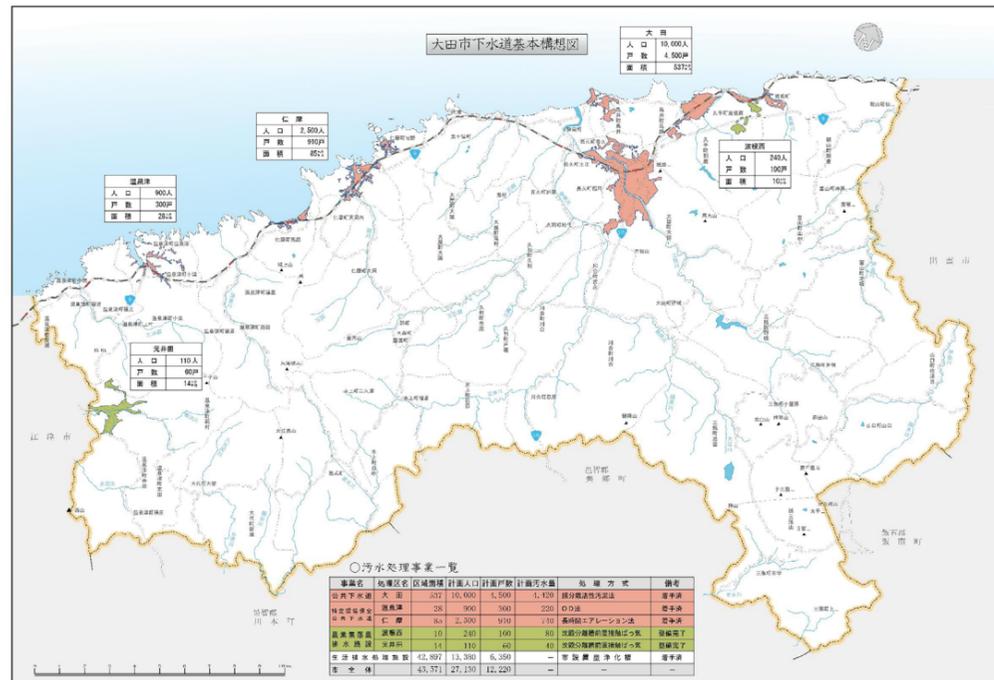
◆ 汚水処理人口普及率

(平成31年3月現在)

事業名	処理区名	計画区画面積 (ha)	計画人口(人)	計画戸数(戸)	状況
公共下水道	大田	537	10,000	4,500	着手済
特定環境保全 公共下水道	温泉津	28	900	300	着手済
	仁摩	85	2,500	910	着手済
農業集落排水施設	波根西	10	240	100	整備完了
	元井田	14	110	60	整備完了
浄化槽		42,897	13,380	6,350	着手済

(資料:下水道課)

◆ 下水道基本構想図



(資料:下水道課)

◆ 市内の国道・主要地方道・一般県道整備状況

(平成29年4月1日現在)

道路種別	路線名	実延長 (m)	改良済 (m)		未改良 (m)	規格改良率 (%)	
			5.50m以上	5.50m未満		5.50m以上	5.50m未満
国道	一般国道9号	50,690	50,690	0	0	100.0	0.0
	内山陰道	12,238	12,238	0	0	100.0	0.0
	一般国道375号	13,100	11,871	1,229	0	90.6	9.4
	計(2)	63,790	62,561	1,229	0	98.1	1.9
主要地方道	三瓶山公園線	20,178	19,084	873	221	94.6	4.3
	仁摩邑南線	15,608	15,593	15	0	99.9	0.1
	川本波多線	5,851	5,668	0	183	96.9	0.0
	大田桜江線	16,640	11,904	2,799	1,937	71.5	16.8
	大田佐田線	13,797	10,587	1,455	1,755	76.7	10.5
	温泉津川本線	11,384	11,276	108	0	99.1	0.9
	計(6)	83,458	74,112	5,250	4,096	88.8	6.3
一般県道	和江港大田市停車場線	3,798	2,596	692	510	68.4	18.2
	大田井田江津線	7,740	1,476	5,949	315	19.1	76.9
	美郷大森線	2,998	2,355	9	634	78.6	0.3
	湯里停車場祖式線	11,818	1,143	980	9,695	9.7	8.3
	久手港線	107	0	107	0	0.0	100.0
	五十猛港線	833	243	8	582	29.2	1.0
	窪田山口線	4,344	496	3,848	0	11.4	88.6
	田儀山中大田線	10,619	1,652	355	8,612	15.6	3.3
	波根久手線	6,551	3,823	2,728	0	58.4	41.6
	池田久手停車場線	19,388	6,202	964	12,222	32.0	5.0
	静間久手停車場線	4,940	3,314	85	1,541	67.1	1.7
	瓜坂川合線	3,397	3,297	100	0	97.1	2.9
	久利五十猛停車場線	9,978	3,818	1,198	4,962	38.3	12.0
	久利静間線	3,707	2,145	7	1,555	57.9	0.2
	温泉津停車場線	1,744	806	245	693	46.2	14.0
	石見福光停車場線	1,716	515	0	1,201	30.0	0.0
	温泉津港線	507	75	160	272	14.8	31.6
	仁万停車場線	570	288	0	282	50.5	0.0
	仁万港線	380	380	0	0	100.0	0.0
	大馬路停車場線	4,331	68	386	3,877	1.6	8.9
	計(20)	99,466	34,692	17,821	46,953	34.9	17.9
	合計(28)	246,714	171,365	24,300	51,049	69.5	9.8

(資料:松江国道事務所、県央県土整備事務所大田事業所)

◆市道整備状況

(平成29年4月1日現在)

種別	路線数	実延長 (m)	改良済延長 (m)	改良率	舗装済延長 (m)	舗装率
1級	29	63,139	52,747	83.5%	62,874	99.6%
2級	67	159,258	109,354	68.7%	154,167	96.8%
小計	96	222,397	162,101	72.9%	217,041	97.6%
その他	1,620	748,705	305,238	40.8%	639,729	85.4%
合計	1,716	971,102	467,339	48.1%	856,770	88.2%

※改良済は幅員4.0m以上、舗装済は簡易舗装を除く

(資料:土木課)

◆市町村道の現況比較表

(平成29年4月1日現在、単位:m)

	大田市	8市平均	11町村平均	県平均
実延長	971,102	1,410,018	309,455	772,850
改良済延長	467,339	781,088	167,321	425,749
改良率	48.1%	55.4%	54.1%	55.1%
舗装済延長	856,770	1,152,868	218,058	611,662
舗装率	88.2%	81.8%	70.5%	79.1%

※改良済は幅員4.0m以上、舗装済は簡易舗装を除く

(資料:島根県土木部道路維持課)

◆火災の発生状況

(平成30年12月31日現在)

年次	火災発生件数	罹災世帯数	焼失棟数	建物焼損面積(m ²)	山林焼損面積(a)	損害額(千円)	死者(人)	負傷者(人)
平成25年	26	6	10	594	18	5,073	0	3
平成26年	33	6	14	1,961	4	433,314	0	4
平成27年	17	4	10	400	0	8,487	0	3
平成28年	18	5	12	630	2	16,226	0	4
平成29年	23	6	11	1,025	11	17,528	0	0
平成30年	30	5	14	548	95	16,649	1	3

(資料:消防部総務課)

◆救急出動の推移

(平成30年12月31日現在)

年次	区分	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
平成25年	件数	1	0	1	105	20	8	248	5	14	977	269	1,648
	搬送人員(人)	1	0	0	119	19	8	242	6	9	939	260	1,603
平成26年	件数	2	0	1	104	18	7	266	1	15	1,001	323	1,738
	搬送人員(人)	2	0	1	121	19	8	263	0	11	960	319	1,704
平成27年	件数	0	0	4	86	17	14	295	6	14	1,030	338	1,804
	搬送人員(人)	0	0	2	95	17	15	296	6	8	985	332	1,756
平成28年	件数	1	0	5	97	20	12	299	4	13	1,118	325	1,894
	搬送人員(人)	1	0	5	111	20	13	294	4	11	1,071	314	1,844
平成29年	件数	0	0	1	95	27	10	307	1	17	1,075	361	1,894
	搬送人員(人)	0	0	1	118	27	11	298	1	11	1,021	359	1,847
平成30年	件数	1	2	5	112	23	17	279	2	15	1,182	359	1,997
	搬送人員(人)	1	2	3	119	22	18	273	2	8	1,132	354	1,934

(資料:消防部総務課)

◆自主防災組織

(平成31年1月1日現在)

地域	活動エリア世帯数	地域	活動エリア世帯数
中央ブロック (大田、川合、久利、大屋)	2,929	高山ブロック (大森、水上、祖式、大代)	433
東部ブロック (朝山、富山、波根、久手)	374	温泉津ブロック (湯里、温泉津、井田、福波)	743
西部ブロック (鳥井、長久、静間、五十猛)	952	仁摩ブロック (仁万、天河内、宅野、大国、馬路)	362
三瓶ブロック (池田、志学、山口、多根)	891	全体	6,684

(資料:危機管理課)

5. 自然・生活環境づくり

◆ごみ搬入量

(単位:t)

区分	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度
資源物	1,452	1,530	1,319	1,221	1,137	1,211	1,185	1,127
(うちプラ容器)	(12.6)	(126.6)	(120.9)	(114.3)	(108.8)	(105.1)	(103.5)	(103.1)
燃やせるごみ	7,749	7,965	8,006	8,055	8,057	7,925	7,875	7,945
不燃ごみ	1,697	1,672	1,346	1,142	1,091	1,007	1,306	985
合計	9,446	9,637	9,352	9,197	9,148	8,932	9,181	8,930

(資料:環境政策課)

◆上水道等施設の状況

(平成30年3月31日現在、単位:人、m3)

区分	施設名	計画給水人口	現在給水人口	計画1日最大給水量
上水道	上水道事業	31,300	30,606	13,500.0
飲料水供給施設	入石飲料水供給施設	80	26	12.0
簡易給水施設	上野地区簡易給水施設	44	26	11.0
営農飲雑用水	野城地区営農飲雑用水施設	93	67	64.4
	柿田地区営農飲雑用水施設	96	76	40.2
	本郷地区営農飲雑用水施設	63	27	27.5
	多根地区営農飲雑用水施設	76	66	48.4

(資料:水道課)

9) 用語解説

行	用語	解説
あ	ICT	Information and Communication Technology(情報通信技術)の略。教育現場において、パソコンや、デジタルテレビなどを導入し、情報活用能力の育成を図っている。 本市では、学校規模に応じてパソコンなどの機器を配置している。
	IT	Information Technology(情報技術)の略。情報を取得、加工、保存、伝送するための技術。特に、コンピュータなどの機械や器具および、ソフトウェアを用いて情報を扱う技術。
	アウトリーチ事業	「手が届く」という意味で使われている。何らかの理由があり、そのものに触れる機会が少なかったり、機会を得ることができない人のために、その人たちが所属・所在している施設などを場として、事業を行う。
	空き家バンク	市内にある空き家の所有者が、売買または賃貸を希望する場合に「おおだ空き家データバンク」へ登録を行い、その情報を定住サイトや情報誌などで提供し、定住希望者に紹介する制度。
	アクティブ・ラーニング	教員による一方的な講義形式の教育とは異なり、学習者の能動的な学習への参加を取り入れた学習法の総称。課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習のことであり、発見学習、問題解決学習、体験学習、調査学習などが含まれる。2020年度から全面实施される新学習指導要領に取り入れられる。
	アプリ	アプリケーションソフトの略。スマートフォンやタブレット端末に入れて使う、特定の機能を持った専用のソフトウェア。
	ESD	Education for Sustainable Development(持続可能な開発のための教育)の略。持続可能な社会の担い手を育むため、地球規模の課題を自分のこととして捉え、その解決に向けて自分で考え行動を起こす力を身につけるための教育。2002年の第57回国連総会で日本が提案し、実施が決議された。
	依存財源	国や県から交付されたり割り当てられたりする財源で、国庫支出金、県支出金、地方債、地方交付税などを指す。
	一般会計	国や地方公共団体が基本的な活動を行うための、一般の歳入・歳出を総合的に経理する会計。
	一般不妊治療	社会保険各法の規定による不妊治療(診断のための検査など治療の一環として実施される検査を含む)および人工授精のこと。
	医療介護連携	医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、医療・介護の関係機関が連携し、切れ目のない医療・介護を提供すること。
	医療圏	第一次医療圏/診療所が中心となるもので、日常的疾病と日常生活の健康管理をする医療の圏域。 第二次医療圏/一般的な、または、比較的専門的な入院と専門外来を中心とする医療の圏域。 第三次医療圏/高度、特殊な入院を中心とする医療の圏域。
	石見神楽	島根県西部に位置する石見地域で受け継がれる神楽。神職により舞われていた神楽舞が、民衆に受け継がれ郷土芸能となる。神職が行っていた神楽舞を比較的忠実に受け継いだゆるやかで優雅な舞を六調子神楽、舞いや奏楽のテンポが速くなったものを八調子神楽と呼び区別している。
	石見銀山学概説書	石見銀山遺跡の調査研究成果を集約し、時代順でなく、「水」「土」「火」といったキーワードでくくってまとめた概説書。高校生以上を対象とした石見銀山の「大人向け教科書」として、全7巻を発刊する予定。
インフラ	Infrastructureの略。社会的な経済基盤と生産基盤とを形成するものの総称。道路、下水道、学校、病院、公園、公営住宅などのほか、インターネットなどの通信も含まれる。	
Instagram(インスタグラム)	スマートフォン用の写真共有アプリケーション。 #(ハッシュタグ)を使い、興味関心のある人に見つけてもらいやすくする機能を持つ。	
AI	Artificial Intelligence(人工知能)の略。データを分析することで、ルールに基づいて物事を解決したり、新たな知識を得ることができるような、コンピュータ上のシステムやソフトウェア、またそのための技術。例として、前者は将棋対戦ソフト、後者は顔認証システムが挙げられる。	
SNS	Social Networking Serviceの略。ソーシャル・ネットワーキング・サービスとは、人と人とのつながりをインターネット上で構築するサービスのこと。	

行	用語	解説
あ	NPO法人	Non Profit Organization(非営利団体)の略。政府・自治体や私企業とは独立した存在として、市民・民間の支援のもとで社会的な公益活動を行う組織・団体。特定非営利活動法人、非営利組織、非営利団体、市民活動法人、市民事業体など。
	FTTH	Fiber To The Home の略。通信事業者から一般個人住宅までを、全て光ファイバによる伝送路でつなぐ通信網構築方式。
	大田市地球温暖化対策地域協議会	本市の地域住民、事業者、NPO、行政などが協働して地球温暖化防止活動を実施し、持続可能な地域づくりの実現に寄与することを目的として平成21年度に設立された団体。
	大田市歴史文化基本構想	本市に存在する文化財を指定未指定にかかわらず幅広く把握し、その周辺の環境を含めて総合的に保存・活用するための基本的な構想。文化庁は「文化財活用・理解促進プログラム2020」において、「歴史文化基本構想策定地域の文化財整備を多重的に支援する」としている。
	大田二次医療圏	大田市・川本町・美郷町・邑南町を圏域とする二次医療圏。※二次医療圏については、「医療圏」の項目を参照。
	汚水処理施設	公共下水道や農業集落排水施設、浄化槽などの家庭や事業所などから排出される汚水を処理する施設の総称。
	汚水処理人口普及率	行政人口に対して、汚水処理施設が整備された地区に住む人の数が占める割合を示す。
	温室効果ガス	温室効果を起こす気体の総称。二酸化炭素・フロン・メタン・亜酸化窒素など。
	か	外貨
回復期医療		回復期とは「急性期治療を経過したあと身体の機能の回復を図る時期」のことであり、在宅復帰支援やリハビリテーションの提供などを行う医療。
街路		市街地内にある道路の総称。
学校支援地域本部事業		学校の支援を目的とした地域組織。各小中学校単位で委嘱しているコーディネーターの調整のもとで、地域住民がボランティアとして、授業の補助や安全確保などに取り組んでいる。本市では平成26年度までに、市内全域において5つの学校支援地域本部を設置している。
関係人口		移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域や地域の人と多様に関わる人々のこと。
観光マネジメント		観光に関わるさまざまな関係者を連携させ、一つの方針に基づき合意形成を図っていくこと。また、持続可能な観光地域づくりのために、地域経済の収益性の向上に取り組むこと。
基幹産業		経済活動の基盤となる重要な産業。
基金		本市の基金は特定目的基金(特定の目的を計画的に実施するために積み立てる基金)、減債基金(将来の借金の返済に備え、積み立てる基金)、財政調整基金(年度によって生じる財源の不均衡を調整するための基金)の3つであり、これらが市の貯金といえる。
気候変動の影響への適応計画		温室効果ガスの排出を抑え、温暖化のスピードをゆるめる「緩和策」を進める一方で、気候変動によるさまざまな影響に対し、その被害を軽減する「適応策」を、政府として総合的かつ計画的に推進するため、平成27年に策定された。
希少動植物		市内に生息し、または生育する動植物のうち絶滅の恐れのあるものとして、大田市自然環境保全条例により、「ギフチョウ」「イズモコバイモ」「ウススイロヒョウモンモドキ」の3種類を指定し、捕獲などを禁止するとともに、関係機関や民間団体と連携し、保護啓発を図っている。
GAP		Good Agricultural Practice(農業生産工程管理)の略。農業において、食品安全、環境保全、労働安全などの持続可能性を確保するための生産工程管理の取り組み。農業者や産地が認証を取得することにより、結果として持続可能性の確保、競争力の強化、品質の向上、農業経営の改善や効率化に資するとともに、消費者の信頼の確保が期待される。 JGAP、ASIAGAP、GLOBALGAPがある。

行	用語	解説
か	キャリア教育	一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通じて、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく過程を促す教育。
	救急医療	事故や突然の病気、けが、中毒など、急を要する患者に対して、緊急処置と診断・検査・治療を行う医療。
	急性期医療	急性期とは「病気を発症して間もない病状の不安定な時期」のことであり、「病気の進行を止める」、「病気の回復が見込める目処をつける」までの期間に提供する医療。
	教職員の「働き方改革」	社会の変化に伴い学校が抱える課題が複雑化・多様化する中、多くの教職員が平日だけでなく休日にも相当な長時間勤務を行っており、疲労や心理的負担が大きくなっていることから、教職員の業務負担の軽減を図ることで、教師の専門性を生かしつつ、児童生徒などに接する時間を十分に確保し、教師の人間性を高め、児童生徒などに必要な総合的な指導を持続的に行うことができる状況を作り出すこと。
	協働	同じ目的のために協力して働くこと。まちづくりにおいては、行政、住民、NPO法人などの協力を指す。
	クーリング・オフ制度	訪問販売やキャッチセールスなどで購入した商品やサービスを、一定の期間内において無条件で解約・返品できる制度。
	クラウド化	本市の業務においては、庁内にコンピュータを設置して運用してきた情報システムを、インターネットなどを通じて外部の事業者のサービスを利用する形にすること。
	クリーン三瓶	島根県の代表的な観光地である国立公園「三瓶山」で毎年5月に開催される、清掃活動。ごみのない美しい自然の維持を図るとともに、美化意識の高揚と自然保護意識の普及を図り、三瓶山の優れた自然に親しみ、自然を守る心を養うことを目的としている。
	経常的経費	人件費、扶助費、公債費などのように毎年度経常的に支出される経費。
	ケーブルテレビ	ケーブルを用いて行う有線放送の内、有線ラジオ放送以外のもの。本市では石見銀山テレビ放送株式会社がサービスを提供している。広義には、これを中心としてインターネット接続や電話(固定電話)などを含む複合的なサービスを指す。
	健(検)診	健診とは、特定健診など自分の健康状態を知って生活習慣病を予防するために行われる健康診断。検診とは、胃がん検診、肺がん検診、大腸がん、乳がん検診、子宮頸がん検診など特定の病気を発見するために行われる検診。
	公共下水道	地方公共団体が管理する下水道。
公債費	地方債の元金・利子や一時借入金の利子を支払うための経費。	
公衆無線LAN	無線LANとはWi-Fiに代表される、無線通信によるデータの送受信を行うLANシステムのことであり、公衆無線LANサービスが提供されているエリアでは、無料で誰でも無線LANを利用してインターネットに接続できる。	
高度情報化社会	情報通信技術により知識や情報の価値が高められ、政治や経済、文化などの多岐にわたる市民活動に影響を与える社会。	
交流人口	観光、買い物、通勤や通学などの多様な目的により、地域外から訪問する人口。	
高齢者の通いの場	高齢者の介護予防の推進を図るため、平成28年度より住民主体の高齢者通いの場づくり事業を実施。毎週1回、地区のまちづくりセンターなどを会場に概ね80歳以上の高齢者を対象に開催。必須プログラムとして、血圧測定、「0854-8体操」を行い、任意プログラムとして、趣味活動・住民交流・会食などを行う。	
国立公園満喫プロジェクト	平成28年3月に政府が掲げた、訪日外国人旅行者数を2020年までに4,000万人とする目標の達成に向け、環境省において全国33カ所の国立公園から8カ所を選定し、各地域において「ステップアッププログラム」を策定し、計画的、集中的に実施することで多くの訪日外国人旅行者に訪れてもらうための取り組み。三瓶山においても、平成28年に大山隠岐国立公園がその地域に選定され、国や県などと連携し、受け入れ環境の整備などを進めている。	
子育て	子ども自身が自らの力で心身ともに成長すること。	

行	用語	解説
か	COP21	第21回のConference Of Parties(国連気候変動枠組条約締約国会議)の略。2015年にパリで開催されたこの会議では、世界全体の温室効果ガスの削減目標が設定され、2020年以降の地球温暖化対策の枠組みとなる「パリ協定」が採択された。
	子ども家庭総合支援拠点	市町村が、子どもとその家庭および妊産婦などを対象に、実情の把握、相談全般から通所・在宅支援を中心としたより専門的な相談対応や必要な調査、関係機関との連絡調整、その他の必要な支援全般を行うための拠点。平成30年12月に政府が発表した「児童虐待防止対策体制総合強化プラン」において、全ての市町村に2022年までに設置するよう盛り込まれた。
	コミュニティ	同じ地域に居住し、利害をともにする共同社会のこと。共通の目的、意識による深い結びつきをもつ共同体や地域社会。
さ	再生可能エネルギー	自然の活動によってエネルギー源が絶えず再生され、半永久的に供給され継続して利用できるエネルギー。有限の資源である化石燃料に代わるエネルギーとして、温室効果ガスを排出することなくエネルギーを得られるため、地球温暖化対策の一つとして重要視されている。太陽光、太陽熱、風力、水力、地熱、バイオマスなどが挙げられる。
	産学官連携	大学や研究機関が持つ研究成果や教授などの知識・経験などを、民間企業が活用し、経営の改善に生かしたり、製品化・実用化に結びつけたりする仕組み。
	市行造林	造林意識の高揚と森林資源の造成を期するため、市と土地所有者との契約に基づき、収益を分取する目的をもって、民有林野を市営で造林すること。
	自主財源	市が自主的に徴収する収入財源。市税、分担金、負担金、使用料、手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金および諸収入を指す。
	自主防災組織	地震や風水害などの災害から、自分たちの安全を守り被害を最小限にとどめるために、地域の人たちが自発的に防災活動を行う組織。
	市場開拓コーディネーター	首都圏などの小売店や飲食店などと市内事業者をつなげることで、本市製品のPRおよび販路拡大に取り組む専門人材。
	市人会	本市出身者およびその縁故者をもって組織している会。会員相互の交流および親睦を図り、ふるさと大田市の発展に寄与することを目的に活動している。東京、大阪、広島など全国6箇所に組織されている。
	実質公債費比率	市税、普通交付税のように用途が特定されておらず、毎年度経常的に収入される財源のうち、公債費や公営企業債に対する繰出金などの、公債費に準ずるものを含めた、実質的な公債費相当額に充当されたものの占める割合。借入金などの返済額の大きさを示す指標として用いられ、18%が健全ラインとなる。
	指定管理者制度	平成15年の「地方自治法」の改正により、公共施設の管理運営を第3セクターなどに限らず、民間事業者やNPO法人、ボランティア団体などに委託できることとした制度。
	ジビエ	シカやイノシシなど、狩猟によって食材として捕獲される野生鳥獣やその肉。フランス語でgibierと表記される。
	島根県西部地震	2018年4月9日発生。大田市東部を震源とし、地震の規模を示すマグニチュードは6.1、震源の深さは12km、最大震度は大田市内の震度5強。4000件以上の建物被害が発生した。
	島根大学医学部地域枠学生	生まれ育った地域が、島根県内のへき地などであり、地域枠推薦入試により「島根大学医学部」へ入学し、へき地医療を中心とする島根県の医療に貢献したいという強い使命感を持った意欲ある学生のこと。
	市民後見人	市民が成年後見制度について、家族法・財産法等後見人として活動するための知識を講座で学び、大田市市民後見人人材バンクに登録された後、成年後見センターの推薦により家庭裁判所にて後見人として選任される人。活動にあたっては成年後見支援センターが後見監督をするほか、同センターへの定期報告や相談支援を受けながら後見活動を行う。
	社会減	他地域への転出が、他地域からの転入を上回ることによって生じる地域人口の減少。
周産期医療	周産期(妊娠22週から生後満7日未満の期間)とその前後の期間の母体・胎児・新生児に生じがちな突発的事態に対応するため、産科と小児科が提供する連携した医療。	
住宅用火災警報器	煙を感知して、音や音声による警報を発する装置のこと。本市では平成23年6月より全ての住宅の寝室や、寝室へ続く階段への設置が条例で義務付けられている。	

行	用語	解説
さ	集落営農組織	集落を単位として、農業生産過程の全部または一部について共同で取り組む組織。
	循環型社会	廃棄物の発生を抑制し、廃棄物となった場合は循環的な利用および適正な処分が確保されることによって、天然資源の消費を抑制し、環境への負荷ができる限り低減される社会。
	障がい者自立支援協議会	障がい者が地域において自立した日常生活、社会生活を営むために必要な事項(相談支援事業に関すること、関係機関によるネットワーク構築に関すること、障がい者の支援体制に係る社会資源の情報収集・提供体制に関すること、障がい者の権利擁護に関すること、障がい者計画などの策定・進捗状況の管理・評価に関することなど)を協議する場。
	小規模企業	中小企業基本法において、次の通り定められた定義に該当する事業者。製造業その他、従業員数20人以下、商業・サービス業、従業員数5人以下。
	食育	食に関する知識と食を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てる取り組み。
	自立	教育魅力化で目指す方向性の一つ。児童生徒が自らの意志で課題に向き合い、他者と協働しながらその解決を目指す姿勢を持つこと。
	新可燃ごみ共同処理施設	本市と邑智郡総合事務組合が、2022年度から燃やせるごみの広域処理を行うため、「邑智クリーンセンター(川本町)」の隣接地に整備する新しいごみ処理施設。
	新耐震基準	昭和59年に建築基準法施行令の改正により耐震基準が大幅に見直されており、本計画ではそれ以降の耐震基準を新耐震基準として記載している。
	水洗化率	下水道や浄化槽を利用できる地区に住んでいる人のうち、実際に接続・設置して利用している人の割合。
	水田フル活用	水田を有効に活用し、食糧自給率に向上を図る取り組み。生産調整(減反)により米作を行っていない水田を利用して、大豆・麦・飼料作物や、主食用以外の新規需要米(米粉・飼料用米)などの生産を行う。
	スキルアップ	さまざまな学習、研修などを通じて自らの技能を向上させること。
	3R	Reduce(リデュース:使用済みになったものが、なるべくごみとして廃棄されることが少なくなるように、ものを製造・加工・販売すること)、Reuse(リユース:使用済みになっても、その中でもう一度使えるものはごみとして廃棄しないで再使用すること)、Recycle(リサイクル:再使用ができずにはまたは再使用された後に廃棄されたものでも、再生資源として再利用すること)の3つの英語の頭文字。
	生活困窮	就労の状況、心身の状況、地域社会との関係性その他の事情により、経済的に困窮し、最低限度の生活を維持できなくなるおそれのある状態。
	成年後見支援センター	大田市社会福祉協議会が本市より受託し運営している機関。成年後見制度について市民からの相談や利用するための支援を行ったり、後見人などの相談支援を行っている。また、成年後見制度の周知として、講演や出前講座、市民後見人の養成講座を行い、市民後見人の家庭裁判所への推薦や監督を行っている。
成年後見制度	認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など判断能力が不十分な人の自己決定の尊重と本人の保護の調和を図り、権利を守る制度。「法定後見制度」は、家庭裁判所で選任した成年後見人などがこれらの人の意思を尊重し、その人らしい生活のために、その人にかわって財産管理や身上監護などを行う。その他、判断能力が不十分になった場合に備えて、財産管理や身上監護などを自分の信頼する人に希望どおりに行ってもらえるようあらかじめ契約しておくことができる「任意後見制度」がある。	
性別役割分担意識	男女を問わず個人の能力などによって役割の分担を決めることが適当であるにも関わらず、「男は仕事、女は家庭」のように、男性、女性という性別を理由として、役割を固定的に分けること。	
総合医療学講座	大田市立病院の診療機能強化と総合医育成のため、平成23年10月に本市からの寄附により島根大学医学部に開設された講座。あわせて、臨床を通じた教育・研究・研修の拠点となる大田総合医育成センターが、大田市立病院内に設置された。	
総合型地域スポーツクラブ	「スポーツ基本法」が平成23年8月に施行され、しまね広域スポーツセンターの指導の下、豊かなスポーツライフ創造のためのクラブとして本市では「銀ギンぎんスポーツクラブ」の名称で、子どもから高齢者まで8種目のスポーツ教室を開催している。	

行	用語	解説
た	大山隠岐国立公園ステップアッププログラム2020	大山隠岐国立公園における多様な関係主体による具体的な取組方針について、平成28年度から平成32年度(2020年度)の5年間を計画期間としたロードマップ(行程表)のこと。 2020年までに受け入れ環境の整備を重点的に進めていくこととしている。
	体力テスト	市内全小中学校全学年を対象に、島根県の「島根県児童生徒の体力・運動能力等調査要項」に基づき実施する。また、本市独自のアンケートも行い、それらのデータを分析するとともに「子どもの体力向上推進連絡協議会」などで各年代にあわせた今後の対策などを協議する。
	多業型の集落営農組織	農業に加えて、農業・農村の多面的機能の維持や、地域資源を活用した多種多様な事業に取り組む営農組織。
	多文化共生	国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的な違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員としてともに生きていくこと。
	多面的機能	農林水産物以外に、生産活動によって社会に役立つ有形・無形の価値が生み出されること。環境保全機能や生態系保全機能、自然・環境教育の場や農山漁村文化の伝承など。
	男女共同参画社会	男女が社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的および文化的利益を享受することができ、かつ、ともに責任を担うべき社会。
	地域おこし協力隊	都市地域から人口減少や高齢化などの進捗が著しい過疎地域などに生活拠点を移した者を地方公共団体が「地域おこし協力隊員」として委嘱し、一定期間(概ね1年以上3年程度)地域に居住して地域ブランドや地場産品の開発、販売、PRなどの地域おこしの支援や農林水産業への従事、住民の生活支援などの地域協力活動を行いながら、その地域への定住、定着を図っていく制度。
	地域防災力	住民一人ひとりが自ら行う防災活動、自主防災組織、消防などの多様な主体が行う防災活動と国・県・市などが行う防災活動の適切な役割分担と相互の連携協力によって確保される総合的な防災の体制及びその能力。
	小さな拠点づくり	まちづくりセンター単位など基礎的な生活圏を単位とする地域住民が主体となり、行政などと連携することで、その中に分散している生活サービスや地域活動の場などをさまざまな手法でつなぎ、生活を支える「小さな拠点」をつくること。
	地球温暖化	気候変動の一部で、地球表面の大気や海洋の平均温度が長期的に上昇する現象。人為起源のCO2などの温室効果ガスの増加が、その原因とされており、気温上昇による海面水位の上昇や農作物への影響などが懸念されている。
	地方交付税	全ての地方団体が、一定の水準を維持できる財源を確保するため、国が地方に代わって徴収した地方税を、地域間の財政的格差を是正するように配分するもの。人口の減少などに伴い、配分も減少する。
	地方交付税の合併特例措置	市町村が合併した後の地方交付税の配分額を、合併前の算定基準に合わせ、10年間増額し、その後は5年間で徐々に増額分を減らしていくという措置。本市は平成17年度に1市2町が合併して誕生しており、2020年度に増額措置が終了する。
	地方債	特定の歳出の財源に充てるための長期の借入金。
	地方債の繰上償還	地方公共団体が毎年返済している借金を、前倒して一括返済すること。財務省などから公的資金を借り入れている場合、貸付側としては本来得る予定だった利子分と、返済された資金を新たに貸し付けることにより得られる利子分との差額が、損失として発生するため、借入側は差額分を補償金として支払うことになる。本市では、過去に財政状況など一定の要件を満たした場合に適応される、補償金免除の特別措置制度を利用し、行財政改革を進めた。
	中核病院	複数の診療科や高度な医療機器を備え、地域医療の拠点としての役割を担う病院。
中小企業	中小企業基本法に業種ごとに定められた定義に該当する事業者。同法には資本金の額または出資の総額、常時使用する従業員数が定められている。なお、法律や制度によって「中小企業」として扱われている範囲が異なる場合がある。	
Twitter(ツイッター)	Twitter社の提供するソーシャルネットワークキングサービス(SNS)。140文字以内でつぶやき、共通する興味や関心でつながりをもつことができる。	
積立金現在高比率	地方公共団体の財政の安定性を判断する指標の一つで、積立金現在高(貯金の量)の標準財政規模(標準税収入額と普通交付税と臨時財政対策債発行を合わせた額)に対する割合。 50%が健全ライン。	

行	用語	解説
た	定住サイト	本市の魅力、住まいや仕事、各種支援制度など、内容を随時更新し旬な情報を掲載・提供する定住希望者向けの総合Webサイト。
	適応指導	主として不登校の児童生徒に、体験活動、学習活動、教育相談などをとおして、心の居場所づくり、仲間づくりを支援していくこと。本市では、適応指導教室(あすなる教室)を設置し、学校などと連携しながら児童生徒への支援を随時行っている。
	デマンド交通	バスの運行形態の一種であり、条件に応じて基本路線外の迂回路線を経由すること。利用者の要求により、バスの運行管理者(事業者)が利用者の希望する停留所まで迂回運行し、利用者の要求が無い場合には迂回路線を経由せずに運行する。
	テレワーク	情報通信技術を活用した、場所や時間にとられない柔軟な働き方のこと。tele(離れた場所)とwork(働く)をあわせた造語。
	同軸ケーブル	中心に導体を通し、その周りを絶縁体、さらに外側を外部導体で取り囲んだ構造をもつケーブル。主にテレビなど高周波信号の伝送に用いられる。
	道路・河川愛護団	自治会などで組織され、道路の草刈りや側溝清掃、河川の草刈りやしゅんせつなどを行う団体。本市では活動に対して、奨励金制度により支援している。
	登録型本人通知制度	住民票の写しや戸籍謄抄本などの証明を本人の代理人や第三者に交付した場合に、その事実を事前登録した者に通知する制度。戸籍などの不正取得を抑制し、差別につながる身元調査や個人の権利侵害を防止することを目的としている。
	どがどが会員	会員登録(登録無料)をすると、年3回発行のふるさと情報誌「どがどがなかな大田市です!!」の無料送付、月1回のメールマガジンの送信など、本市の様々な情報が得られる会員制度。
	都市計画道路	自治体が都市計画に基づいて決定する、都市の主要な骨格を成す道路。
	土曜チャレンジ	中学3年生を対象に、学習時間と学習意欲の向上および進路選択に向けた実践的学力の育成に資するため、各中学校区内に学習の場を設け、土曜日に自学・自習をおこなう取り組み。平成26年度から始めた、本市独自の取り組みである。
な	ナショナルパーク	直訳すると「国立公園」。国においては、外国人誘客を目指した世界水準の国立公園として「ナショナルパーク」と表現している。
	ニーズ	必要。要求。需要。
は	認定農業者	農業経営基盤強化促進法に基づき、市町村が基本構想を策定し、この基本構想に示された目標に向けて、自らの創意工夫に基づき、経営の改善を進めようとする計画(農業経営改善計画)を作成し、認定を受けた農業者。
	年齢調整死亡率	年齢構成が異なる地域間で死亡状況の比較ができるよう年齢構成を調整した死亡率。
	農業集落排水施設	農業集落におけるし尿、生活雑排水などの汚水、汚泥または雨水を処理する施設のこと。
乗り合いタクシー事業	10人以下の人数を運ぶ営業用自動車を利用した乗り合い事業。所定のダイヤと停車地に従って運行し、利用者は路線バスに近い感覚で利用する。	
バイオマス	バイオ(bio=生物、生物資源)とマス(mass=まとまった量)を合成して作られた言葉。生物を利用して有用物質やエネルギーを得ること。また、その生物体、生物資源。	
廃棄物減量等推進員	自治会などの構成員の中から当該自治会長などの推薦を受け、市長が委嘱する。資源物および家庭系一般廃棄物の適切な排出および指導を行うこと、ならびに一般廃棄物の減量のための市の施策への協力その他の活動を行う。	
ハザードマップ	自然災害による被害を予測し、想定被害範囲や避難所、避難経路などを図示したもの。	
HACCP	Hazard Analysis Critical Control Point(危機分析重要管理点)の略。食品等事業者自らが食中毒菌汚染や異物混入などの危害要因を把握したうえで、原材料の入荷から製品の出荷に至る全工程の中で、それらの危害要因を除去または低減させるために特に重要な工程を管理し、製品の安全性を確保しようとする衛生管理の手法。	

行	用語	解説
は	発達障がい	自閉症やアスペルガー症候群などの広汎性発達障がい、学習障がい、注意欠陥多動性障がいなどの脳機能の障がいで、通常低年齢で発現する障がいのこと。
	はぴこ	正式名称は「島根はっぴいこーでいねーたー」。一般社団法人しまね縁結びサポートセンターに登録された、結婚を望む独身男女の縁結びを応援する島根県公認のボランティア。
	光ファイバ	石英ガラスまたは、透明度の高いプラスチックを使った非常に細いケーブルのことで、この光ファイバに光を通すことで通信が行われる。光ファイバを用いた通信では、同軸ケーブルよりも情報通信の高速大容量化が可能となる。
	病診連携	病院と診療所(かかりつけ医)がそれぞれの役割、機能を分担し、お互いに連携しながら、より効率的・効果的な医療を提供すること。
	病病連携	病院と病院がそれぞれの役割、機能を分担し、お互いに連携しながら、より効率的・効果的な医療を提供すること。
	Facebook(フェイスブック)	米Facebook社が運営するソーシャルネットワークキングサービス(SNS)。实名制で友達とのコミュニケーションや、同僚・取引先とつながることができ、「いいね」「シェア」などの特徴的な機能をもつ。
	普通会計	地方財政の統計上、統一的な把握をするために用いられる会計区分。本市では一般会計、簡易給水施設事業特別会計、大田市駅周辺土地区画整理事業特別会計を指す。
	ブランド	銘柄。商標。
	ブランドコンセプト	地域のブランド化を目指すにあたって定める目標や方向性。
	不良空家等	倒壊などの危険が切迫しており、かつ周辺に被害を及ぼす恐れがある空家等のこと。
	ふるさとキャリア教育	地域の教育資源「ひと」「もの」「こと」を活用しながら地域の多様な大人と関わることを通して、地域に対する愛着や誇り、貢献意識を醸成するとともに、社会との関わりの中で、役割を果たしながらいかに生きていくかを学ぶ教育活動。 本市では、小学校における社会科見学、中学校の職業調べ、職場体験活動、高等学校の職業人講話、インターンシップなどの活動を進めている。
	ふるさと納税	自分が貢献したいと思う自治体へ寄附をする制度。寄附先のふるさとに定義はなく、出身地以外の自治体への寄附も自由に選択できる。ふるさと納税を行い確定申告すると、納税額のうち2,000円を超える部分について、一定の上限まで原則として所得税、個人住民税から全額控除できる。
	文化財保存活用地域計画	文化財保護法の改正により規定された、文化財の保存活用のために市町村が策定する総合的な計画。総合的調査を踏まえた未指定文化財の保存活用の方策や、民間との連携、情報発信や防災なども含めた内容となる。
	平均自立期間	平均自立期間は、あと何年自立した生活が期待できるかを示したもの。島根県では、介護保険の介護認定データを基に要介護者(要介護2~5)の割合を算出し、生命表に割り当てることで平均自立期間を算出している。
	平均セッション時間	ユーザーがサイトを一回訪問した時の、平均滞在時間。
	ヘルスツーリズム	医学的な根拠に基づく、健康回復や維持、増進につながる観光。
放課後子ども教室	地域で子どもを育てる環境づくりを推進するため、全ての子どもを対象に安全・安心な活動拠点を設け、地域住民の協力により、学習やスポーツ、文化・芸術活動および地域住民との交流活動を行う場。開催日数は年間250日未満、1日4時間以内と規定。	
母子健康包括支援センター	妊娠・出産・子育てに関する相談に応じ、必要に応じて個別に支援プランを策定し、保健・医療・福祉・教育などの地域の関係機関による切れ目のない支援を行う組織。	
本因坊道策	1645年(正保2年)~1702年(元禄15年)大田市仁摩町馬路の出身であり、歌人の柿本人麻呂(歌聖)、絵画の雪舟(画聖)らと並び石見三聖と称された一人。江戸時代に棋聖と称され、囲碁で活躍した郷土の誇るべき偉大な人物。	

行	用語	解説
ま	マーケティング	顧客ニーズを的確につかんで製品・商品計画を立て、最も有利な販売経路を選ぶとともに、販売促進努力により、需要の増加と新たな市場開拓を図る諸活動。
	マッチング	組み合わせること。ここでは求職と求人とのニーズをあわせること。
や	見える化	さまざまな情報をわかりやすく提供・公開することで、運営、活動や物事の全体像が、誰にでもわかるようにすること。
	有効求人倍率	有効求職者に対する有効求人数の比率。
	有収率	給水する水量と料金収入のあった水量との比率で、水道メーターを通った水量(有収水量)を、浄水場などから給水された給水量で除した値のこと。有収率=有収水量÷給水量。
	Uターン Iターン	Uターン: 都会に出た後、出身地に戻ること。 Iターン: 出身地に関わらず、住みたい地域を選択し移り住むこと。
ら	YouTube(ユーチューブ)	YouTube社が運営する、無料で利用できる動画コンテンツ共有サイト。高い注目度を持ち、さまざまな広告の媒体として活用されている。
	ユネスコ	United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization(国際連合教育科学文化機関)の略。それぞれの頭字語であるUNESCOからきている。国際連合の専門機関の一つで、教育・科学・文化を通じ国際協力を促進し、世界の平和と安全に貢献することを目的としている。昭和21年(1946年)設立。本部はパリ。日本は昭和26年(1951年)に加盟している。世界遺産を登録する機関でもある。
	ライフスタイル	生活の様式。
わ	リースハウス	JAなどが建設し、リースで農業者に貸し出すビニールハウス。リース形式であるため、新規就農にかかる初期投資を低く抑えることが可能となる。
	労働生産性	労働者が1人当たり、または1時間あたりでどのぐらいの成果を出したのかを示す指標。労働生産性が高いほど、少ない労働力で効率的に成果を生み出せるとされ、経営分析の際の主要な指標の一つでもある。
	6次産業化	農山漁村が生産(第1次産業)だけでなく、食品加工(第2次産業)、流通・販売(第3次産業)にも主体的・総合的に関わり合うことで高付加価値化を図り、活性化につなげていく取り組み。
ワークショップ	参加者が意見を自由に出し合ったり、お互いの理解を深めたり、合意を得たりする場。	

第2次大田市総合計画 2019 - 2026

発行 平成31(2019)年3月
島根県大田市
〒694-0064 島根県大田市大田町大田口1111 TEL.0854-82-1600
<http://www.city.ohda.lg.jp/>
(大田市 政策企画部政策企画課)

